

令和 8 年 度
教育委員会の事務に関する点検・評価報告書
(令和 7 年 度 対 象)

夢と心をはぐくみ
未来を拓く寄居の教育

令和 8 年 8 月
寄居町教育委員会

目次

1	はじめに	2
2	点検・評価の対象及び方法	2
3	点検・評価シートの構成	3
4	点検・評価の結果	
	I 未来を拓く確かな学力の育成	4
	II 豊かな心と健やかな体の育成	2 9
	III 教職員の資質向上と教育環境の充実	4 1
	IV 家庭・地域の教育力の向上	5 4
	V 生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進	6 3
5	識者の評価並びに意見・提言	7 4
6	結びに	8 3

1 はじめに

地方教育行政の組織及び運営に関する法律により、全ての教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとされています。

寄居町教育委員会では、同法の規定に基づき、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすため、「教育委員会の事務に関する点検・評価」（以下「点検・評価」という。）を実施し、報告書にまとめました。

2 点検・評価の対象及び方法

（1）点検・評価の対象

令和7年度寄居町教育行政重点施策（以下「重点施策」という。）に掲げた事業を対象として、点検・評価を行いました。

（2）点検・評価の方法

重点施策に定めた取組ごとに点検・評価シートを作成し、実施状況及び決算状況を記載するとともに、重点施策で設定した成果指標の達成状況を踏まえて自己評価を行い、課題や今後の取組について記載しています。

■評価基準

指標の達成度に合わせ、A～Cの3段階で評価しました。

A: 指標の達成度 80%以上 B: 指標の達成度 40～79%

C: 指標の達成度 39%以下

また、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育に関し学識経験を有する方（以下「学識経験者」という。）から、意見・提言をいただきました。

3 点検・評価シートの構成

(1) 基本目標、施策、取組

重点施策における基本目標（基本目標番号、基本目標名）、施策（施策番号、施策名）、取組（取組番号、事業名）を記載しています。

(2) 決算の状況

事業実施に係る予算額、決算額の記載に加え、特記事項には、国・県補助金等の特定財源の活用状況について記載しています。

(3) 実施状況

事業の概要・実績等、設定した指標に対する取組状況を記載しています。

(4) 成果指標、目標値、実績値、評価

重点施策において設定した成果指標、目標値を記載し、実績値には、令和7年度の達成状況、評価欄には前頁で定めた評価基準の達成度を記載しています。

(5) 課題・今後の取組

令和7年度の実施状況や、指標の達成状況（評価）に対する原因分析に基づき、課題や今後の取組について記載しています。

4 点検・評価の結果

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	1	主体的・対話的で深い学びの実現		
取組	1	個別最適な学びの工夫	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	● 7年度は、小学校で86本、中学校で63本の動画を作成した。 【動画（例）】 ・小学1年生 国語 段落の付け方を、大型モニターでわかりやすく示した。 ・中学3年生 家庭科 ミシンの使い方を視覚的に理解しやすくした。			
成果指標		目標値	実績値	評価
I C T活用事例の動画作成本数		各教科2本	各教科2本以上	A
課題・今後の取組	7年度までに作成した寄居町I C T活用動画集を活用した研修など、I C Tの利活用に関する研修を実施する。			

教科別動画作成本数

（単位：本）

教科	小学校	中学校	教科	小学校	中学校
国語	6	4	家庭科	5	5
社会	8	5	道徳	12	2
算数・数学	14	8	学活	3	3
理科	8	3	総合	4	9
音楽	6	3	外国語	7	10
図工	4	2	その他	7	7
体育	2	2	合計	86	63

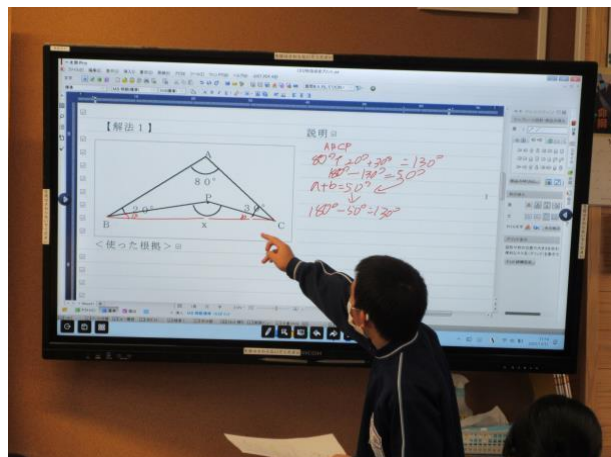
※作成本数は、これまでの累計本数です。

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	1	主体的・対話的で深い学びの実現		
取組	2	協働的な学びの工夫	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●学校訪問等を通じて、グループ活動やペア活動など、協働的な学びの充実のため指導・助言を行った。 【協働的な学びを取り入れた授業（例）】 ・小学校理科：太陽と影の位置関係について、自分の考えをタブレットに入力した後、班で話し合う活動 ・中学校数学：角の大きさの求め方について、自分の考えを電子黒板に写し、考えを説明し合う活動			
成果指標		目標値	実績値	評価
協働的な学びを取り入れた授業の実施率		100%	71%	B
課題・今後の取組	7年度に引き続き、協働的な学びを取り入れた授業の実施について、各校へ指導・助言を行う。			



小学校 理科の授業の様子



中学校 数学の授業の様子

点検・評価シート（対象：令和７年度）

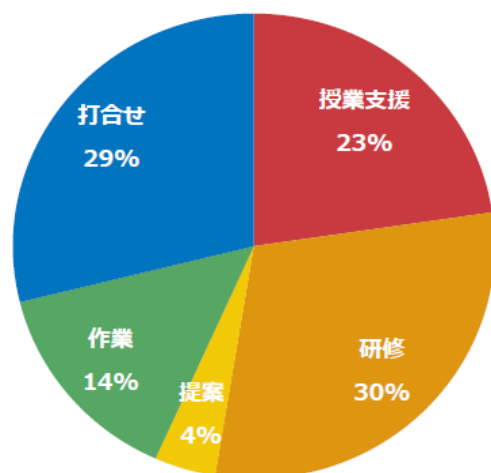
基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	1	主体的・対話的で深い学びの実現		
取組	3	個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	● A I ドリルや教材提示装置など I C T を活用するとともに、児童生徒が自分達で課題を見出したり、自らの学びを振り返ったりする活動を通し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した。 【町教育委員会による授業への指導】 ・ 北部教育事務所との合同訪問指導（9回） ・ 校内研修等での指導（25回） ・ 若手職員等への個別の指導（18回）			
成果指標		目標値	実績値	評価
町教育委員会による 授業への指導回数		50回	52回	A
課題・今後の取組	町教育委員会が積極的に授業を参観し、授業者への指導や研究協議会での指導を行うことで、授業改善を促していく。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	2	G I G A スクールの推進（学習用タブレットの活用推進）		
取組	1	I C T 支援員による業務支援	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	9,504,000		9,218,880	
実施状況	● I C T 機器の効果的な活用を推進するため、各校に月2回、I C T 支援員を配置し、教材提案、個別・集合研修等を行った。 ● 学習用タブレット更新に伴う設定や使い方についてサポートを行い、I C T 機器を利用した学習を停滞させることなく移行し、教職員の負担を軽減した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
I C T 支援員の巡回支援回数		各校月2回	各校月2回	A
課題・今後の取組	引き続き I C T 支援員を配置し、個別最適な学びを実現するために I C T 機器の活用をサポートし、教職員の負担軽減を図る。			

I C T 支援員の活動状況（用土小学校の例）

【活動割合】



【授業支援の例】

● 支援内容

2年・算数「三角形と四角形」

● ICT活用の方法

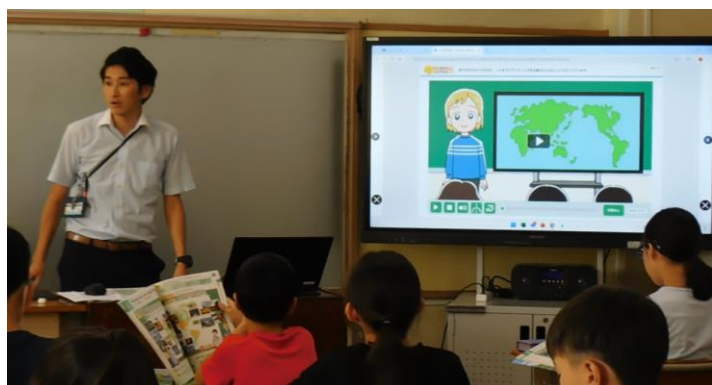
授業の導入で「ラインズeライブラリ」授業支援機能を活用し、既習事項の確認を行った。

● 先生の感想

児童が前時の学習をどれだけ理解しているかがわかって、授業を進めるのに役立っている。

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	2	G I G A スクールの推進（学習用タブレットの活用推進）		
取組	2	デジタル教科書の活用推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	3,739,000		3,718,660	
実施状況	●デジタル教科書の使用により、情報収集や多様な学習ニーズへの対応が可能になり、新たな学びのスタイルを構築できた。 ●小学校では算数、英語、中学校では数学、社会、英語でデジタル教科書を活用した授業を実施した。 【デジタル教科書の活用状況（例）】 ・小学生英語：デジタル教科書を大型モニターに映し、学習活動の見通しをもたせる場面 ・中学生英語：デジタル教科書で各自の理解度に合わせて難易度を変えながら音読練習を行う場面			
成果指標		目標値	実績値	評価
デジタル教科書使用率		100%	81%	A
課題・今後の取組	特別支援学級での活用方法について研修を行っていくとともに、引き続きデジタル教科書の活用を促し、使用率100%を目指す。			



デジタル教科書を大型モニターに映して学習活動の見通しをもたせる様子



デジタル教科書で各自の理解度に合わせて音読を行う授業の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	1	学力向上推進委員会の充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	90,000		90,000	
実施状況	●学力向上推進委員会を4回、学力向上研修会を1回実施し、以下の内容について協議した。 【協議内容】 ・第1回会議：今年度の活動計画について ・第2回会議：寄居町学力テストの活用法について ・学力向上研修会：埼玉県学力・学習状況調査の活用法について ・第3回会議：各学力調査の結果について ・第4回会議：来年度に向けて			
成果指標		目標値	実績値	評価
研修会の実施回数		5回	5回	A
課題・今後の取組	寄居町学力テストや埼玉県学力・学習状況調査を活用し、魅力ある授業の推進と児童生徒の学力向上のため、引き続き学力向上推進委員会での協議を行う。			



1月27日に実施した「第4回学力向上推進委員会」の様子

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	2	小中一貫教育の推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●小中一貫教育の更なる推進のため、各教科の年間指導計画をもとに、中学校校区ごとに 9 年間を見通した教育課程の見直しを行った。 【教育課程の見直しの例】 ・小中で系統的な指導が可能な単元について、印を付ける等明確化した。 ・乗り入れ授業が可能な単元や内容について、明記した。 【小中一貫教育の取組の例】 以下の取組により小中一貫教育を一層推進した。 ・小中合同研修の実施 ・中学校音楽科教員による小学生への歌唱指導 ・中学校の立志式での発表を、1 / 2 二十歳式を控える小学 4 年生に披露 ・中学校教員が小学校で授業を実施する小中乗り入れ授業の実施			
成果指標		目標値	実績値	評価
各中学校区における 教育課程の見直し		100%	100%	A
課題・今後の取組	見直しを行った教育課程を活用した研修を行い、小中一貫教育をさらに推進させていく。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	3	放課後サポートスクール事業（より・E土曜塾）	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	22,487,000		22,236,500	中学生学力アップ教室事業費補助金
実施状況	●中学生を対象に、希望する進路の実現と確かな学力の向上を図るため、「より・E土曜塾」を実施した。 ●対象は国語、数学、英語の3教科とし、中学3年生は対面型、オンライン型、オンデマンド型、中学1、2年生はオンライン型、オンデマンド型を組み合わせたハイブリッド形式で展開した。 【学年ごとの登録率】 中学1年生：95% 中学2年生：98% 中学3年生：93%			
成果指標		目標値	実績値	評価
中学生の登録率		95%	95%	A
課題・今後の取組	多様な受講形式を継続するとともに、生徒がより参加しやすい環境を整備し、登録率95%を目標とする。			



「より・E土曜塾」での少人数指導の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	4	より・E 学力向上講演会の実施	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●「希望する進路の実現」や「確かな学力の育成」を目的として、中学生と保護者を対象に講演会を実施した。 ●講演会の実施状況 ・開催日：7月6日　・場所：役場6階会議室 ・講師：より・E土曜塾担当 村田 喜明 氏 （演目名：より・E進路の選び方） ・参加状況：32人（生徒10人、保護者22人）			
成果指標		目標値	実績値	評価
講演会実施回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	今後は講演会の回数を2回に増やし、1回目は学習や入試への意欲を高められるよう1学期中に実施、2回目は具体的な入試に向けての取組について2学期中に実施する。			



7月6日に実施した「より・E 学力向上講演会」の様子

点検・評価シート（対象：令和７年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	5	学習指導研究委嘱	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	50,000		50,000	
実施状況	● 7、8年度の2年間の研究を折原小学校に委嘱した。授業改善や学力向上に向けた取組について研究している。 ● 以下の日程で実施された公開授業に訪問し、研究協議で指導を行った。 【公開授業】 ・ 10月21日 ・ 11月28日 ・ 2月3日			
成果指標		目標値	実績値	評価
研究委嘱校への訪問・指導回数		3回	3回	A
課題・今後の取組	8年度は本発表が行われるので、本発表に向けて指導助言を適宜行うとともに、研究内容を各校に周知する。			



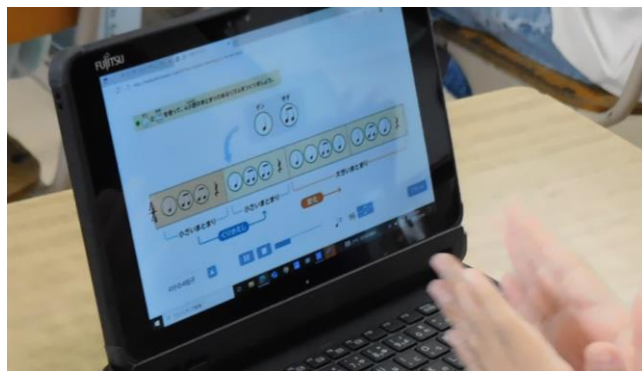
10月21日に行われた算数の公開授業の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	6	学習支援サポーターの配置	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	49,192,000		47,489,504	
実施状況	●各校の実態に応じ、学習を苦手とする児童生徒の支援や教職員の指導を補助した。 ●学習効果を高めるため、サポーターは教員免許所有又は教職経験のある者を配置した。 ●配置状況：小学校20人、中学校10人			
成果指標		目標値	実績値	評価
学習支援サポーター配置率		100%	100%	A
課題・今後の取組	引き続き、教員免許所有又は教職経験のある者の配置に努める。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	7	タブレットを活用した個別学習	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●A Iドリル等の学習アプリケーションソフト等を用い、個人の課題や能力に応じた学習を実施した。 【活用状況（例）】 ・小学3年生 音楽 タブレット上で4小節のリズムを作成する学習 ・中学1年生英語 デジタル教科書を活用して音読練習を行う ●タブレットを活用した家庭学習（より・E土曜塾・英語塾への参加、学習アプリケーションソフトの活用、反転学習等）へ取り組むよう呼びかけを行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
タブレット端末を活用した家庭学習の月2回以上の実施率		80%	70%	A
課題・今後の取組	タブレット端末を活用した家庭学習を児童生徒が個人でも選択できるよう、授業での活用を進めていく。タブレット端末を活用した家庭学習の有用性について、学校訪問や校長会等で周知を継続して実施する。			



小学3年生の音楽の授業での活用状況



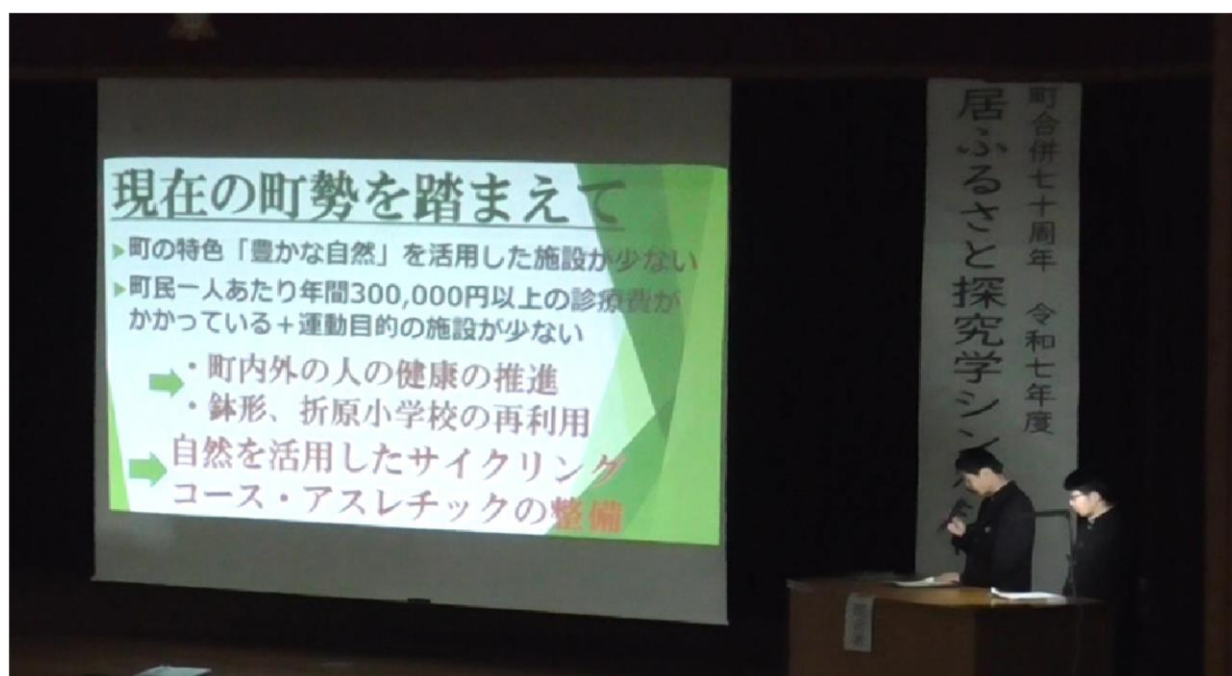
中学1年生の英語の授業での活用状況

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	8	算数検定実施事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	3,065,000		2,871,700	
実施状況	●小学 2 ～ 6 年生を対象に、町費で算数検定を実施した。 ●算数の授業の適用問題として、算数検定の問題に取り組ませ、児童が自分の力を発揮できるよう支援した。 ●低学年から算数への興味・関心・意欲を高め、算数力の更なる向上を目指した。自分で選択して申し込んだ検定級に挑戦することで、全国規模の問題から算数の基礎的・基本的な力の定着を図った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
算数検定合格率		85%	72%	A
課題・今後の取組	検定結果の分析等により、7 級（小学 5 年生程度）から抽象度が高い問題（割合・単位量・面積等）が出題されると合格率が下がる傾向にあることが分かった。つまりいている児童に対して、学習支援サポーターが個別に指導し、フォローアップを行う。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	9	中学校探究学習実施事業（寄居ふるさと探究学）	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	1,324,000		1,296,000	
実施状況	●「私が創りたい寄居のまち」をテーマに中学1～3年生で縦割りグループを編成し、ゼミ形式で探究学習に取り組んだ。グループごとに取材や調査を行った。7年度は寄居町合併70周年記念行事として、「寄居ふるさと探究学シンポジウム」を開催した。 【町長への提言】（開催日：12月23日 場所：寄居中学校体育館） 3校の代表グループが町長へ提言を行った。 寄居中学校「ふるさと「寄居」を災害から守ろう」 城南中学校「健康の町、寄居の創造」 男衾中学校「寄居町を、『食』を通して元気にする！」 （中学1、3年生は、各校でオンライン視聴）			
成果指標		目標値	実績値	評価
町長への提言の実施回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	8年度も寄居ふるさと探究学を実施し、町への提言を行う。			



「寄居ふるさと探究学シンポジウム」において、町長へ提言する様子

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	10	基礎的・基本的な学習内容の確実な定着	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●基礎・基本の習熟に向け、プリント学習や解説動画の視聴等を実施した。 ●各校での誤答分析や実態把握を進め、8年度に向けた計画を作成した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
全国学力・学習状況調査結果において 全国平均正答率を上回る学校数		5 校	2 校	B
課題・今後の取組	基礎的・基本的な内容や読解力に課題がみられる。今後は学力下位層に属する児童生徒への確実なフォローアップや読解力を効果的に高める学習について研究を進め、学力向上を図る。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	11	寄居町学力テスト事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	538,000		507,408	
実施状況	●全国学力・学習状況調査実施日に、小学 2～5 年生、中学 1、2 年生を対象に、学力テストを実施した。（教科は算数・数学） ●児童生徒の学習状況や実態を把握するとともに、調査結果を分析し、各校で校内研修を実施した。また経年比較資料も追加し、個人の伸びに着目することで、自己効力感を高められるようにした。 ●校内研修の実施状況 ・実施回数 各校 1 回 ・主な研修内容 結果票の見方について、授業での活用について 等			
成果指標		目標値	実績値	評価
寄居町学力テストの結果を活用した 校内研修の実施回数		各校 1 回	各校 1 回	A
課題・今後の取組	学力テストの活用について一層の充実を図る。経年比較資料も活用し、個人の伸びに着目させ、自己効力感をより高められるようにする。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	3	確かな学力の育成		
取組	12	より・E 算数・数学定着テストの実施	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●定着テストは、基礎的・基本的な学習内容の定着に焦点化した問題を作成し実施した。（対象：小学校全学年、中学 1、2 年生） ●合格できるまで繰り返し取り組むことで習熟を図った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
テストの合格率		100%	100%	A
課題・今後の取組	期間を定め、集中的に取り組むことで基礎・基本の習熟を図ることができた。フォローアップを充実させるため、結果を分析し、つまずきの大きい児童生徒の把握に努める。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	4	グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進		
取組	1	A L T 派遣事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	24,156,000		24,156,000	
実施状況	●各校に A L T（外国語指導助手）を配置し、児童生徒が外国語に触れ親しむ機会を確保した。 ●小学校段階でネイティブスピーカーと触れ合うことにより、中学校での本格的な英語授業へのスムーズな接続ができている。			
成果指標		目標値	実績値	評価
A L T 配置人数		2 小学校に 1 名ずつ、 1 中学校に 1 名ずつ 計 6 名	2 小学校に 1 名ずつ、 1 中学校に 1 名ずつ 計 6 名	A
課題・今後の取組	引き続き、計 6 名を配置し、外国語活動や国際理解教育の充実を図る。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	4	グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進		
取組	2	小学校英語教育推進事業（より・E小学生英語塾）	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	1,334,000		1,287,000	放課後子供教室推進事業等補助金
実施状況	●グローバル社会の中で、自らの未来を切り拓くことができる児童生徒の育成を目的として、小学6年生を対象に「より・E小学生英語塾」を実施した。 ●英語に対する興味・関心を高めるため、希望する児童に対し、英検5級の受験を公費により実施し160人が受験した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
小学6年生在籍数にしめる登録率		100%	86%	A
課題・今後の取組	授業は、ハイブリット形式（対面型、オンライン型、オンデマンド型）による実施を継続し、登録率100%を目指す。			



「より・E小学生英語塾」の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	4	グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進		
取組	3	中学校英検無償化事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	2,713,000		1,910,550	
実施状況	●中学1～3年生を対象に、英検無償化事業を実施した。 ●グローバル化が進む社会において、今後ますます英語力の向上が求められている。生徒の意欲と英語力を向上させ、中学校卒業までに英検3級以上の取得を目標として取り組んだ。			
成果指標		目標値	実績値	評価
中学3年生の英検3級以上の取得率		45%	33%	B
課題・今後の取組	7年度は4、5級を受験する3年生が多く、3級以上の取得率が目標値に届かなかった。3年生になるまでに、英語検定を受検できるよう、引き続き中学3年生だけでなく、1、2年生も対象に、英検無償化事業を実施する。生徒の意欲と英語力を向上させ、中学校卒業までに英検3級以上の取得率45%を目標として取り組む。			



9月27日に実施した英検（中学3年生対象）の様子

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	4	グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進		
取組	4	英検対策講座事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●中学 1 ～ 3 年生を対象に、英検対策講座事業を実施した。 ●対策講座の実施状況 ・ 中学 3 年生 ： 7 回（8 月～9 月） ・ 中学 1、2 年生： 7 回（12 月～1 月）			
成果指標		目標値	実績値	評価
実施回数		14回	14回	A
課題・今後の取組	引き続き、中学 1 ～ 3 年生を対象に、英検対策講座事業を実施する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	4	グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進		
取組	5	中学生海外相互交流事業	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	6,212,000		5,943,157	
実施状況	●応募者45人の中から、選考試験（日本語作文・英語面接・日本語面接）を実施し、合計点の上位10人を選考した。 ●選考された生徒10人を、8月23日～30日の8日間、米国オハイオ州メアリズビル市へ派遣した。 ●派遣生徒は、現地のホストファミリーの家にホームステイしながら、学校体験や市役所・裁判所などの見学を行った。 ●帰国後、派遣生徒による報告書を作成し、帰国報告会を開催した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
派遣回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	8年度はメアリズビル市の生徒を町で受け入れる。			



8月28日にメアリズビル市のバンソールドミドルスクールで行われた授業の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	5	夢をはぐくむキャリア教育の推進		
取組	1	キャリア・パスポート等のポートフォリオの活用	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むため、各校でキャリア・パスポート等のポートフォリオを活用した授業を実施した。 ●具体的には、年度当初にこの1年間でがんばりたいことや1年後の成長した自分をイメージして記述し、年度末に1年間を振り返ってできるようになったこと等を明確にした。 ※キャリアパスポート 児童生徒が学びや生活を振り返り、自らの成長や変容を記録蓄積するためのもの			
成果指標		目標値	実績値	評価
ポートフォリオを活用した授業の実施回数		各学級7回	58% (7回実施した学級の割合)	B
課題・今後の取組	社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むため、引き続き、キャリア・パスポート等のポートフォリオの活用を促していく。現場の声を反映し、8年度は各学級5回を目標とする。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	5	夢をはぐくむキャリア教育の推進		
取組	2	1 / 2 二十歳式、立志式の実施	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●小学校で1 / 2 二十歳式（小学4年生）、中学校で立志式（中学2年生）を実施した。 ●将来の夢や目標をもたせ、それぞれが互いに誓いの言葉を発表することにより、自己理解や他者理解を深化させる式を催すことができた。 ●1 / 2 二十歳式では、保護者へ向けて将来の夢やどのような大人になりたいかを伝えた。立志式では、自身のキャリアプランや将来どのように社会に貢献していくかという決意を明確にした。			
成果指標		目標値	実績値	評価
各校における実施回数		各校1回	各校1回	A
課題・今後の取組	児童生徒の自己理解や他者理解を深化させるため、引き続き1 / 2 二十歳式及び立志式を各校1回実施する。			



1/2二十歳式の様子（男衾小学校）



立志式の様子（男衾中学校）

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	6	多様なニーズに対応した教育の推進		
取組	1	臨床心理士による巡回相談	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	2,990,000		2,970,000	
実施状況	●支援を要する児童生徒に対する支援の方法について指導助言し、対象児童生徒の実態に応じた支援の実現につなげることができた。また、要望があった学校には下記の内容で心理士による研修を実施し、児童生徒支援への理解を深めた。 【心理士による研修内容】 ・ WISC-V検査（5歳～16歳の子どもを対象とした知能検査）の概要や活用方法について ・ 配慮を要する児童生徒への支援の方法について			
成果指標		目標値	実績値	評価
巡回相談実施回数		各校2回	各校2回	A
課題・今後の取組	特別な支援を要する児童生徒の支援に繋げるために、各校で2回実施する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

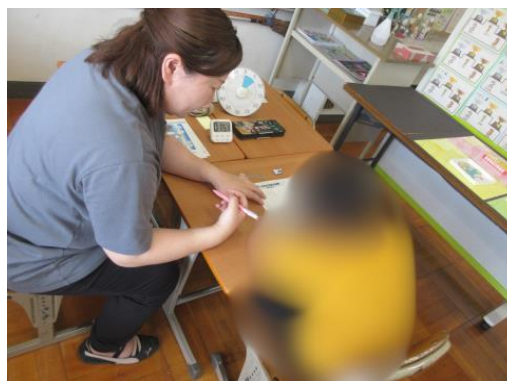
基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	6	多様なニーズに対応した教育の推進		
取組	2	通級指導教室の充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	779,000		755,468	
実施状況	●計画的に訪問し、授業内容に対する指導や、教室運営についての情報共有を行った。 ●通級指導教室の整備状況			
	区分	教室	整備校	
	小学校	発達・情緒障害	桜沢小・鉢形小・男衾小	
		難聴・言語障害	寄居小・鉢形小	
	中学校	発達・情緒障害	寄居中・城南中・男衾中	
成果指標		目標値	実績値	評価
寄居町教育委員会による通級指導教室訪問回数		各月1回	各月1回以上	A
課題・今後の取組	本町での通級指導教室のさらなる充実のため、寄居小・用土小で発達・情緒障害通級指導教室を開室し、人材育成や環境整備を推進する。			

指導の様子

難聴・言語障害



発達・情緒障害（小）



発達・情緒障害（中）



点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	6	多様なニーズに対応した教育の推進		
取組	3	幼保小・小中連携連絡協議会	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●幼保小・小中の教職員が連携し、就学・進学等によって環境が変化する児童生徒へのより良い支援の在り方についての研究を深めた。また、教育サポートセンター心理士からの指導助言を行った。 ●各協議会では、幼保小・小中の教職員が参加し、小学1年生や中学1年生の実態の共有、就学・進学前在籍校からの情報提供等を行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
協議会実施回数		各小学校で1回 各中学校区で1回	各小学校で1回 各中学校区で1回	A
課題・今後の取組	幼保小・小中連絡協議会の実施を継続し、関係機関との連携の充実を図りながら、小1プロブレムや中1ギャップの解消に繋げる。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	1	未来を拓く確かな学力の育成		
施策	6	多様なニーズに対応した教育の推進		
取組	4	介助サポーターの配置	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	50,082,000		49,432,406	
実施状況	●インクルーシブ教育の推進と、一人一人の教育的ニーズに応じた指導を提供するため、介助サポーターを22人配置し、特別な支援や配慮が必要な児童生徒へのサポートを行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
全小・中学校における 介助サポーター配置率		100%	100%	A
課題・今後の取組	引き続き、介助サポーターを配置し、特別な支援や配慮が必要な児童生徒へのサポートを行う。介助サポーターに合理的配慮について事前に情報提供し、一人一人の教育的ニーズに応じた支援を提供できるようにする。			

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	7	心をはぐくむ教育の推進		
取組	1	道徳教育の充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●元深谷市消防本部消防長で危機管理防災アドバイザーの田中章氏を題材に、独自教材による道徳の授業を全校で実施した。（授業対象：小学3～中学3年生） 【教材テーマ】 小学校「『命』は当たり前ではないー私が伝えたいことー」 中学校「命を守る、命をつなぐ」			
成果指標		目標値	実績値	評価
独自教材による授業実施回数		小学3年生から 中学3年生までの 各学級で1回	小学3年生から 中学3年生までの 各学級で1回以上	A
課題・今後の取組	インタビュー等を綿密に行い、児童生徒がより自分自身のこととして捉え、主体的に考える力を育めるような独自の道徳教材を作成する。			



田中 章氏へのインタビューをもとに作成した教員手作りの道徳教材

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	II	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	7	心をはぐくむ教育の推進		
取組	2	「道德のまち・寄居」道德講演会の実施	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	110,000		105,500	
実施状況	【道德講演会の実施状況】 開催日：12月15日 会場：寄居中学校体育館 講師：田中章氏（町在住・危機管理防災アドバイザー） 内容：「命の尊さ」をテーマに、消防士として多くの命を救ってきた一方で、たくさんの命が散っていく姿を目の当たりにしてきた経験から、命は本当に突然終わってしまう、今この瞬間を大切にしてほしいと講演した。 ※寄居中学校の生徒・健全育成町民会議委員・教育委員会委員は会場、他校の児童生徒は、各校の教室等でオンラインにより視聴した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
参加者数		1,500人	1,509人	A
課題・今後の取組	引き続き学校と地域が連携し、道德講演会を実施する。			

参加した児童生徒からの感想

【小学生】

・人の心は、ひどい言葉でふうせんが割れるように壊れてしまうことがわかったので、自分が言われていやなことは、人に言わないようにしたいです。

・命は、すぐになくなってしまいうこともがあると学びました。今日は笑っていたけれど、あしたはじこで亡くなってしまうこともあるので「ありがとう」をたくさん言っていきたいです。

【中学生】

・講演を聴き、改めて命はかけがえのない大切なものだ気付くことができました。毎日、私たちの命を守ってくださっている方々に心から感謝し、今日の学びを今後に生かしていきたいです。

・お話を聴いて、どなたの命も大切でとういものだと改めてわかりました。また、どのような理由があったとしても、イジメなどで命を終わらせるのはぜったいにだめだと思いました。

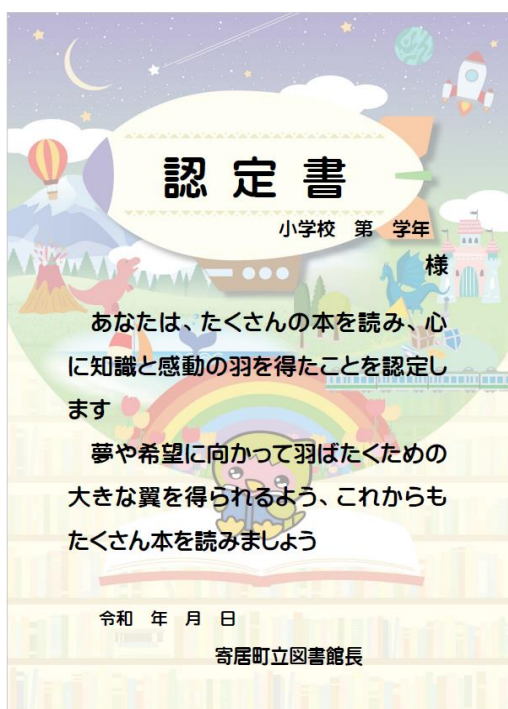


12月15日に実施した田中章氏による道德講演会の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	7	心をはぐくむ教育の推進		
取組	3	「読書通鳥」の活用	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●全児童に「読書通鳥」を配布した。児童の読書意欲を高めるため、100冊達成するごとに図書館から認定書を発行した。 ●年間平均貸出数 小学1～3年生：63.3冊（前年度比1.3冊増） 小学4～6年生：39.1冊（前年度比3.6冊増）			
成果指標		目標値	実績値	評価
読書通鳥100冊達成 認定書発行数		180枚	225枚	A
課題・今後の取組	読書意欲の向上のため、引き続き取組を実施する。児童数の減少による影響を考え8年度の目標値は170枚とする。			

読書通鳥と100冊達成認定書



点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	7	心をはぐくむ教育の推進		
取組	4	読書活動の支援	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●児童生徒の読書活動を支援するため以下の取組を実施した。 ・各小学校への移動図書館「たまよど号」の巡回（回数：102回） ・寄居中学校への移動図書館「たまよど号」の巡回（回数：2回） ・図書館利用カードの発行及び電子図書館の利用登録（対象：小学1年生）			
成果指標		目標値	実績値	評価
移動図書館巡回数		各小学校17回	各小学校17回	A
課題・今後の取組	引き続き各小学校へ移動図書館「たまよど号」の巡回を行うとともに、中学校への巡回校の拡大を図る。			



中学校へ試験巡回の様子（寄居中学校）

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	1	かわせみ教室による不登校児童生徒への支援	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	7,823,000		7,591,439	
実施状況	●かわせみ教室には、不登校または不登校傾向にある児童生徒が通級している。心理的な安定や基本的な生活習慣の育成、社会性を身に付けることを重視して指導している。 ●不登校、または不登校傾向にある児童生徒への支援の選択肢の一つとして、入級手続きの詳細や活動内容について、定期的に学校に情報提供を行った。（通級申請児童生徒数：小学生 11 人、中学生 10 人）			
成果指標		目標値	実績値	評価
不登校児童生徒のかわせみ教室入級率		25%	29%	A
課題・今後の取組	不登校または不登校傾向にある児童生徒の心理的安定や学習保障、社会性の育成のため、個別や小集団での学習や体験活動の一層の充実を図る。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	2	不登校児童生徒親の会の開催	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●子どもの様子について、悩みや不安を相談できるような会を開催した。 ●悩みを抱える子どもへの接し方等について、専門家の知見が記載された資料をもとに、情報提供も行った。 【開催状況】 ・第 1 回（ 6 月 20 日） ・第 2 回（ 7 月 18 日） ・第 3 回（10 月 10 日） ・第 4 回（12 月 19 日） ・第 5 回（ 2 月 20 日）			
成果指標		目標値	実績値	評価
不登校児童生徒親の会開催回数		3 回	5 回	A
課題・今後の取組	不登校や心理的要因、家庭での対応等についての情報を提供をするとともに、保護者が自分の思いを伝え、安心できる会を目指す。また、専門家や不登校の児童生徒をもったことのある保護者等をゲストとして招き、会の充実を図る。			

点検・評価シート（対象：令和７年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	3	不登校児童生徒支援ルームの設置	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●各中学校及び希望する小学校に不登校、不登校傾向及び特別な支援が必要な児童生徒への支援を行う不登校児童生徒支援ルームを開設した。 ●支援ルームの設置や活用に必要な校内のきまりや申請書等について教育委員会で様式を作成し、各校で活用してもらった。 【支援ルーム設置状況】 ・中学校：寄居中、城南中、男衾中 ・小学校：桜沢小、用土小、男衾小			
成果指標		目標値	実績値	評価
中学校における支援ルーム設置校数		3校	3校	A
課題・今後の取組	町内学校の児童生徒の様子を鑑みた上で、中学校だけでなく小学校にも支援ルーム設置を拡大する。			

点検・評価シート（対象：令和７年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	4	不登校対策小中連携シートの活用	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●不登校または不登校傾向にある児童生徒の出欠席状況や様子、保護者との面談の経過などを記載できる不登校対策小中連携シートについて、各小学校が確実に作成し、中学校に引き継げるようにした。 【研修内容の例】 ・小中連携シートをもとに、校内で情報共有を行った。 ・小学校の６年生担任と中学校の担当で、小中連携シートに基づいた引き継ぎを行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
不登校対策小中連携シートを用いた研修実施率		100%	100%	A
課題・今後の取組	不登校対策小中連携シートの作成や活用について、年間を通して日常的に記録をし、児童生徒に寄り添った支援ができるようにする。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	5	いじめ問題対策連絡協議会の開催	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●いじめの早期発見、迅速な対応等について学校間で情報を共有するため、いじめ問題対策連絡協議会を 2 回実施した。 【協議会の実施状況】 ・第 1 回会議（4月22日） 議題：寄居町のいじめ対策について ・第 2 回会議（3月 9日） 議題：各校の 1 年間の様子について			
成果指標		目標値	実績値	評価
協議会実施回数		2 回	2 回	A
課題・今後の取組	いじめの早期発見や迅速な対応を図るため、特に中学校区での情報共有を密にしていく。引き続き、警察等の指導・助言を学校のいじめ問題に対する指導に生かしていく。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	II	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	6	教育サポートセンター事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	5,660,000		5,623,002	
実施状況	●幼稚園・保育園と小学校との円滑な引継ぎを図るため、相談員が定期的に幼稚園や保育園を訪問し、就学前児童の情報を収集して各小学校に提供した。 ●支援の必要な児童生徒等について各校と情報共有を行い、必要に応じて児童生徒や保護者との面談を実施した。 ●子育てに関する保護者の悩みについて、電話相談や来所相談を行うとともに、必要に応じてかわせみ教室にも情報を提供した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
幼・保・小・中への訪問回数		100回	122回	A
課題・今後の取組	引き続き、幼・保・小・中の円滑な接続の支援に資するため、情報収集や情報提供、相談業務等を行う。			

教育サポートセンター対応件数

（単位：件）

区分	7年度	6年度	5年度
電話相談	17	36	49
来所相談	35	20	19
専門機関等との連携	748	664	702
合計	800	720	770

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	II	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	7	さわやか相談員配置事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	10,404,000		10,403,275	さわやか相談員配置事業負担金
実施状況	●各中学校において、相談室を利用している生徒からの相談や、保護者との面談等を実施し学級復帰に向けて支援した。 ●さわやか相談室の機能や実態について周知するため、さわやか相談員便りを発行した。 【さわやか相談員便りの発行状況】 ・さわやか相談室の業務内容について ・ストレス軽減の方法について ・悩み相談について			
成果指標		目標値	実績値	評価
さわやか相談員便りの発行回数		各学期 1 回	各学期 1 回	A
課題・今後の取組	継続して学期に 1 回さわやか相談室便りを発行し、生徒、教職員、保護者にさわやか相談室の役割等について広く周知し、効果的な活用を図る。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	II	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	8	いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実		
取組	8	自殺予防	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●夏季休業前の 1 週間を「命を大切にする週間」として位置付け、以下の取組を実施した。 【取組状況（例）】 ・授業（道徳）での指導（内容：主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること） ・全校朝会や集会（長期休業前後）での校長講話の実施 ・学校便りや懇談会等により学校の取組を周知 ・自殺予防に関する校内研修の実施			
成果指標		目標値	実績値	評価
自殺予防に向けた授業の各校各学級での実施回数		3回	3.2回 (各校各学級平均)	A
課題・今後の取組	夏季休業前を「命を大切にする週間」として位置付けつつ、児童生徒の気持ち不安定になりやすい大型連休明けや 6 月、長期休業明けも命を大切にする教育を推進し、各校で自殺予防に向けた道徳授業や学級活動を実施する。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	9	人権を尊重した教育の推進		
取組	1	人権教育研究委嘱	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	150,000		150,000	
実施状況	●委嘱研究校：鉢形小学校（6、7 年度） 寄居中学校（7、8 年度） ●2 年間の研究の中で人権問題を正しく理解し、人権感覚を磨き、様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成するとともに、指導法や指導内容等を各校に共有した。 【研究発表会】（開催日：11 月 20 日） ・発表校：鉢形小学校 ・研究主題：自他を大切にできる児童の育成 ～対話力・表現力の育成を通して～			
成果指標		目標値	実績値	評価
研究委嘱発表実施回数		1 回	1 回	A
課題・今後の取組	7、8 年度は寄居中学校、8、9 年度は用土小学校に委嘱する。研究内容や指導法、指導内容等を各校に普及する。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	9	人権を尊重した教育の推進		
取組	2	同和教育指導案データ集約と活用	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●同和問題を人権教育の重要な柱とし、町共通の指導計画の活用や研修を通して、全教員が同様に同和問題の授業を実施できるようにした。 【授業の実施状況（例）】 ・小学校 渋染一揆について、全国水平社宣言について（小学 6 年生 社会）等 ・中学校 江戸時代の身分制度について（中学 2 年生 歴史） 基本的人権が尊重される社会の実現について（中学 3 年生 公民）等			
成果指標		目標値	実績値	評価
同和問題を取り上げる授業の実施回数		各校 2 回	各校 2 回	A
課題・今後の取組	引き続き、社会、歴史等の教材により同和問題に対する授業を展開する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	10	健康の保持増進と体力の向上		
取組	1	体力向上推進委員会の充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	72,000		72,000	
実施状況	●児童生徒の健やかな体の育成を図るため、体力向上推進委員会を開催した。会議では、各校や町全体の体力の課題を分析し、その分析結果を基に体力向上に向けた取組について協議したり、各校の効果的な取組について共有したりした。			
	【体力向上推進委員会の開催状況】			
		開催日	内容	
	1 回	4月30日	今年度の活動方針・活動計画・救命救急について	
	2 回	7月15日	体力テストの結果と各校の考察	
	3 回	2月19日	活動のまとめ	
成果指標		目標値	実績値	評価
新体力テスト総合評価 A + B + C の割合		小学校男女95% 中学校男女90%	小学校男女90% 中学校男女84%	A
課題・今後の取組		児童生徒の体力はコロナ禍前とほぼ同等の水準に戻ってきている。引き続き各校や町全体の体力課題を分析し、体力向上に向けた取組を実施する。		

新体力テストの総合評価（文科省が定める基準に基づきA～Eの5段階で表示）

A判定：非常に優れている

B判定：優れている

C判定：普通

D判定：やや劣っている

E判定：劣っている

※上記基準から、A + B + C の割合は、運動機能や体力が全国平均以上の割合であることを示している。

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	10	健康の保持増進と体力の向上		
取組	2	栄養教諭の学校巡回指導による食育の推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●各校で栄養教諭が巡回指導を実施し、食育の充実を図った。 【授業内容（例）】 ・好き嫌いをなくそう（小学 1 年生） ・野菜の栄養について調べよう（小学 4 年生） ・食生活と自立（郷土料理について）（中学 2 年生）			
成果指標		目標値	実績値	評価
栄養教諭による巡回指導回数		70回	83回	A
課題・今後の取組	引き続き、各校で栄養教諭が巡回指導を実施し、食育に関する授業を実施する。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅱ	豊かな心と健やかな体の育成		
施策	10	健康の保持増進と体力の向上		
取組	3	部活動指導員の配置	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	2,405,000		2,064,506	
実施状況	●中学校に合計で 5 人の部活動指導員を配置した。 ・寄居中学校：女子バスケットボール部（1 人） 柔道部（1 人） ・城南中学校：女子ソフトテニス部（1 人） ソフトボール部（1 人） 女子バレーボール部（1 人） ●指導経験が豊富な指導員を配置することで、生徒への専門的な技術指導のほか、教員の負担軽減を図ることができた。			
成果指標		目標値	実績値	評価
配置人数		4 人	5 人	A
課題・今後の取組	引き続き部活動指導員を配置し、生徒への専門的な技術指導と、教員の負担軽減を図る。			

点検・評価シート（対象：令和 7 年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	11	教職員の資質・能力の向上		
取組	1	教職員の福井県派遣事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	182,000		162,342	
実施状況	全国学力・学習状況調査の成績が上位である福井県に教員 2 人（小・中学校各 1 人）を派遣した。（派遣期間：3 日間） ●派遣教員は事後に学力向上研修会において各校へ報告した。 【派遣報告会の状況】 ・報告内容 福井県独自の教育施策について 坂井市における探究学習について ※オンライン配信も実施し、全教職員が派遣事業の報告を視聴した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
成果説明会の実施回数		1 回	1 回	A
課題・今後の取組	引き続き、小学校教員 1 人、中学校教員 1 人を福井県へ派遣し、町の学力向上のために成果説明会を実施する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	11	教職員の資質・能力の向上		
取組	2	人権教育研修会	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●教職員を対象としたフィールドワーク（現地研修会）や人権教育研修会、大里地区人権教育研究集会を実施し、各種人権課題に対する教職員の意識の高揚や人権感覚の育成を図った。 【研修会等実施状況】 ・寄居町人権教育現地研修会（8月1日） フィールドワークで真東寺、猪俣の百八燈へ ・大里地区人権教育研究集会（8月22日） 人権講話（ダニー・ネフセタイ氏） 学校における人権教育の推進について ・人権教育研修会（8月25日） 国や県の人権教育の動向について			
成果指標		目標値	実績値	評価
フィールドワークへの参加者数		各校2名	各校2名	A
課題・今後の取組	引き続き、人権教育研修会等を通じて、教職員の人権課題に対する理解と意識の向上を図る。			



8月1日に実施したフィールドワーク（現地研修会）の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	11	教職員の資質・能力の向上		
取組	3	体力向上講演会	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●体育授業の指導力向上や体育指導における幅広い知識の習得を目的に、体力向上講演会を開催した。（対象：小学校教員、中学校保健体育科教員） 【講演会の実施状況】 ・開催日：7月31日　・場所：役場6階会議室 ・講師：岡田 久志 校長（寄居中学校） ・演題：確かな技能習得・体力向上・健康増進を保障する体育指導の工夫			
成果指標		目標値	実績値	評価
体力向上講演会の実施回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	児童生徒の体力向上や救命教育等の実績のある講師を招き、小学校教員・中学校保健体育科の教員を対象に講演会を実施する。			



7月31日に実施した岡田久志校長による体力向上講演会の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	11	教職員の資質・能力の向上		
取組	4	体育実技講習会	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●県の各運動領域の研修会に参加した教員が各校の教員に実技伝達を行った。 【実技講習会実施状況】 ・開催日：8月4日 ・内容：幼児の運動遊びについて ボール運動について			
成果指標		目標値	実績値	評価
実技講習会実施回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	県の各運動領域の研修会に参加した教員が各校の教員に実技を伝達するため、引き続き実技講習会を開催する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	11	教職員の資質・能力の向上		
取組	5	不祥事根絶	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●教職員の不祥事根絶を図るため、以下の取組を行った。 ・埼玉県教育委員会作成の、不祥事防止研修プログラムを活用した、教職員研修の実施 ・町内教頭研究協議会における管理職対象の不祥事防止研修の実施 ・各校における不祥事根絶に向けた研修計画の策定 ・報道発表資料を活用した当事者意識の醸成			
成果指標		目標値	実績値	評価
研修実施回数		各校15回	各校15回以上	A
課題・今後の取組	不祥事防止研修プログラム等を活用した教職員研修を充実させ、教職員に当事者意識を醸成し、不祥事の未然防止に努める。教職員研修については、ショート研修を各校15回以上を目標に実施し、教職員の意識の低下を防ぐ。			

●教職員研修会実施状況

（単位：回）

学校名	実施回数	主な研修内容
寄居小	20	わいせつ行為根絶・体罰防止・交通事故（酒気帯び運転）等
桜沢小	30	交通事故（酒気帯び運転）・セクハラ・パワハラ・個人情報紛失等
用土小	16	体罰防止・交通事故（酒気帯び運転）・会計金銭事故等
折原小	27	わいせつ行為根絶・個人情報の適切な管理・不適切なSNSの使用等
鉢形小	40	わいせつ行為根絶・個人情報の管理・交通違反、事故防止等
男衾小	25	わいせつ行為根絶・体罰防止・不適切な指導の防止・セクハラ等
寄居中	30	わいせつ行為、体罰の根絶・個人情報の管理・会計事故防止等
城南中	30	教職員の懲戒規定について・わいせつ行為根絶・個人情報の管理等
男衾中	15	教職員の懲戒規定について・わいせつ行為根絶・個人情報の管理等

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	12	学校の組織運営の改善		
取組	1	学校評価の効果的な活用	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●「教育の質の保証・向上」、「学校運営の改善」、「信頼される開かれた学校づくり」という学校評価の目的を果たすため、学校評価を教職員の自己評価シートの達成目標としての活用や、ＩＣＴを活用するなどにより、課題の早期発見・早期解決を図った。 ●学校評価について地域へ公表、公開することにより、保護者との連携協力を推進した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
学校評価実施回数		各校2回	5校 (2回以上実施校)	B
課題・今後の取組	引き続き、ＩＣＴを活用し教職員の負担軽減を図る。8年度も各校2回の実施を目標とする。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	12	学校の組織運営の改善		
取組	2	働き方改革の推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●学校における働き方改革を推進するため、「寄居町立学校における働き方改革基本方針」に基づき教職員の負担軽減を図った。 【取組状況（例）】 ・定時退勤ウィークの設定 ・出退勤システムの活用（時間外在校等時間の見える化）			
成果指標		目標値	実績値	評価
時間外在校等時間 年360時間を超えない教職員の割合		100%	70%	B
課題・今後の取組	7年度は、6年度と比較し+9.4%であり、成果が表れている一方、目標の達成には至っていない。8年4月に策定した「寄居町立学校教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づいて、取組を進めていく。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	13	児童生徒の安全・安心の確保		
取組	1	安全教育の推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●児童生徒が安全・安心な学校生活が送れるよう、いじめを含めた学校事故全般に対して未然防止・早期発見・早期対応を行った。 クマの出没増加を受け、各校ではクマ出没対応マニュアルを作成した。 【研修の実施状況】 ・実施回数：各校学期に1回 ・内容：事故発生時の連絡体制について、熱中症の防止について、アナフィラキシー対応について 等			
成果指標		目標値	実績値	評価
危機管理マニュアルを使用した教職員研修実施回数		各校3回	各校3回以上	A
課題・今後の取組	引き続き危機管理マニュアルを使用した教職員研修を実施し、安全教育の推進を図る。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	III	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	13	児童生徒の安全・安心の確保		
取組	2	救命教育の推進	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	113,000		56,133	
実施状況	●「子どもたち一人一人が救命士！！ ～いざという時に行動にうつせる児童生徒の育成～」を教育目標とし、緊急時に正しい行動がとれる児童生徒の育成に取り組んだ。 ●教育委員会で小学1～6年生、中学生の学習指導案及び資料を作成し、共通の資料を基に授業が実施できるようにした。 【各学年の指導案】 ・小学1、2年生：「たおれている人をたすけよう」 ・小学3年生：「AEDのなぞをとけ！」 ・小学4年生：「倒れている人を助けよう！」 ・小学5年生：「AEDマスターになろう！！」 ・小学6年生：「正しい心肺蘇生法を身に付けよう！」 ・中学生：「傷害の防止（応急手当の意義と実習）」			
成果指標		目標値	実績値	評価
救命教育に関する授業実施率		100%	100%	A
課題・今後の取組	救命に関する児童生徒のスキルやマインドを育てることを目標に、引き続き全校全学級で救命教育の授業を実施する。			



救命教育の授業の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	III	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	13	児童生徒の安全・安心の確保		
取組	3	ICTを活用した防災・防犯体制の強化	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●緊急時に安全かつ迅速に児童生徒を家庭に引き渡すため、各校ホームページの「緊急時連絡サイト」や連絡ツール「tetoru」を活用し、引き渡し訓練を実施した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
ICTを活用した避難訓練の実施回数		各校1回	各校1回	A
課題・今後の取組	安全かつ迅速に児童生徒を家庭に引き渡すことができるよう、ICTを活用した訓練を継続して実施する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	III	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	13	児童生徒の安全・安心の確保		
取組	4	救命処置の迅速化（AEDの屋外設置）	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	各小中学校のAEDについて、AED協力事業所認定制度の「AED協力事業所」の認定を受け、町公式Xに利用に関する周知を行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
SNS等によるAEDの屋外移設の広報周知回数		1回	1回	A
課題・今後の取組	6年度よりAEDの屋外設置は教育委員会HPにて周知され、また、「AED協力事業所」の認定も受け、AEDの屋外設置の認知の定着が図れたことにより重点施策の取組からは除く。			

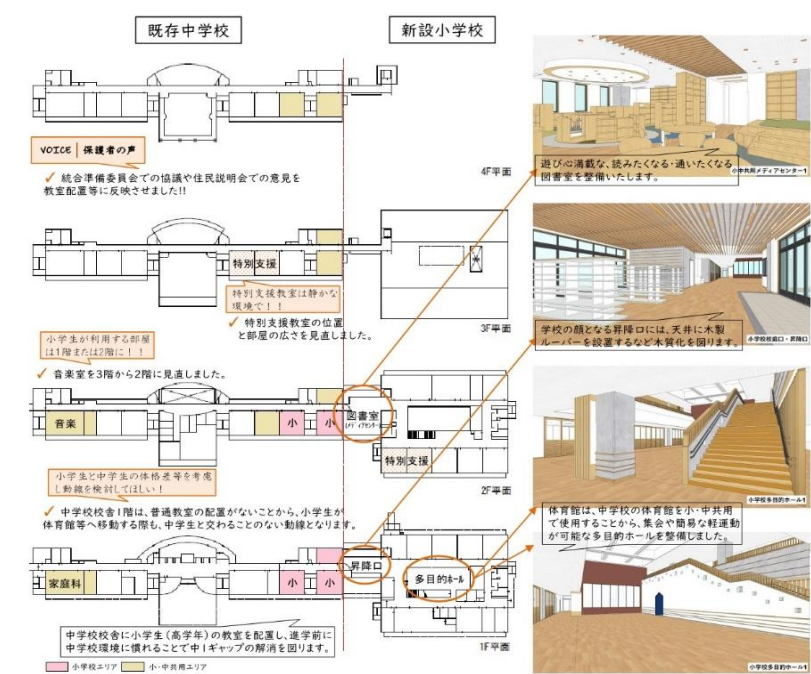
点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	13	児童生徒の安全・安心の確保		
取組	5	食物アレルギーに対応した給食の提供	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	－		－	
実施状況	●児童生徒ごとの食物アレルギーについて把握し、その内容に応じ、牛乳の停止や詳細なアレルギー対応献立表を作成した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
食物アレルギーによる事故件数		0 件	0 件	A
課題・今後の取組	引き続き、事故を起こさないようアレルギー対応献立表を作成する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	14	教育環境の整備・充実		
取組	1	学校施設等の適正な維持管理	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	32,137,000		31,474,850	
実施状況	●小学校遊具安全対策工事 点検の結果により、劣化度・危険度において優先的な改修の指摘を受けた遊具について安全対策工事を実施した。 ●寄居中学校体育館屋上防水工事 屋上防水の劣化等により、雨漏りが発生していた寄居中学校体育館の屋上防水工事を実施した。 ●給食センター調理設備更新工事 不具合の発生していたグランドケトル1台を更新し、学校給食の安定供給に努めた。			
成果指標		目標値	実績値	評価
遊具安全点検判定 (ハザードレベル3)件数		0 件	0 件	A
課題・今後の取組	施設の維持管理は、経常的な業務であることから、重点施策としての選定を見直し、代わって、新規設備の導入や大規模な改修事案等について「教育環境の充実」を新規項目として定める。			

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	14	教育環境の整備・充実		
取組	2	学校施設の長寿命化・集約化の推進	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	145,896,000		101,995,936	
実施状況	●6年度に実施した基本設計に基づき、実施設計を実施した。中学校を含めた全体的な教室配置計画については、統合準備委員会での協議や住民説明会での意見を踏まえ決定した。 ●統合準備委員会では、全体会議、代表者会議のほか、各専門部会での会議をそれぞれ開催し、通学支援体制や校歌・校章の制作等、統合に向けた具体的な課題について協議を重ねた。また、学校統合の進捗状況を地域住民へ広く周知し、地域全体で統合への機運を醸成するため「トウゴウタイムズ」を発行し地域回覧した。 【会議の開催状況】 全体会議：2回 代表者会議：5回 専門部会：3回			
成果指標		目標値	実績値	評価
統合準備委員会開催回数		5回	10回	A
課題・今後の取組	城南小学校の建設工事に着手するとともに、10年度の開校を見据え、統合準備委員会での協議を加速させる。また、地域回覧やHP等による情報発信により地域との連携を深め、学校・家庭・地域が一体となった統合への機運醸成を図る。			



教室配置と完成予想図



統合準備委員会の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	III	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	14	教育環境の整備・充実		
取組	3	第3子以降の給食費無料化	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	10,150,000		9,143,048	
実施状況	●多子世帯の経済的負担を軽減し、子育て支援を推進するため、学校給食費補助金を交付した。 【決算額の内訳】 小学校分：160人 6,921,293円 中学校分：41人 2,221,755円			
成果指標		目標値	実績値	評価
学校給食費補助金の広報周知回数		町広報誌2回以上	2回	A
課題・今後の取組	8年度からの町立小・中学校の給食費無償化に伴い、食物アレルギー等により給食を停止している町立小・中学校の児童・生徒、並びに町外の県立特別支援学校（小学部を除く）や私立小・中学校等に就学している児童・生徒について、補助金を交付し、子育て支援を推進する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	III	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	14	教育環境の整備・充実		
取組	4	児童生徒の就学支援の推進	所管	教育総務課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	22,854,000		21,201,300	要保護児童(生徒)援助費補助金
実施状況	●要保護及び準要保護の家庭への就学援助費支給のほか、経済的な理由により、高等学校等での修学が困難な方に修学資金補助金を支給した。 ●要保護家庭には修学旅行費を援助したほか、準要保護家庭には学用・通学用品費、修学旅行費、学校給食費、オンライン学習通信費を援助し、家庭の経済的負担軽減を図った。また、準要保護家庭を対象に入学にむけた準備金として新入学準備費を支給した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
就学援助制度等の広報周知回数		3回	3回	A
課題・今後の取組	引き続き広報誌やホームページ等により制度の周知を行い、就学費用の一部を援助し経済的負担の軽減を図る。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	Ⅲ	教職員の資質向上と教育環境の充実		
施策	14	教育環境の整備・充実		
取組	5	電子図書館の整備・充実	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	1,860,000		1,859,275	
実施状況	●利用者ニーズに応えるコンテンツを304点購入し、学校や自宅でいつでも利用できる電子図書館の整備・充実に努めた。 ●トップ画面に「小学生におすすめコンテンツ」、「中学生におすすめコンテンツ」を特集し、利用促進を図った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
電子図書貸出数		7,000点	8,384点	A
課題・今後の取組	引き続き利用者ニーズに応えるよう電子図書館の整備・充実に努め、更なる利用促進を図る。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	1	小学校巡回企画展の実施	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	20,000		20,000	
実施状況	●「主体的・対話的で深い学び」の実現のため、県立自然の博物館と連携して小学校巡回企画展を実施した。 ●12月に用土小学校、1月に折原小学校で開催した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
巡回企画展実施回数		2回	2回	A
課題・今後の取組	理科に興味・関心をもち、主体的・対話的で深い学びを実現するため、引き続き実施する。8年度は寄居小と鉢形小で実施する。			



小学校巡回企画展の様子（折原小学校）

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	2	学校運営協議会の充実	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	485,000		450,480	
実施状況	●学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進し、質の高い学校教育の実現を図った。 ●各中学校区において、学校運営協議会の活動内容等をホームページへ掲載し、特色ある学校づくりについて地域へ周知した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
各中学校区でのホームページへの掲載回数		各中学校区4回	各中学校区4回以上	A
課題・今後の取組	引き続き、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進するため、活動内容等についてホームページへ掲載し地域へ周知を図る。			

●会議の開催とホームページ掲載状況

中学校区	学校運営協議会開催数	ホームページ掲載数
寄居中学校区	4回	4回
城南中学校区	4回	4回
男衾中学校区	5回	5回

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	3	学校応援団推進事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	135,000		135,000	
実施状況	●学校・家庭・地域が一体となって学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力を向上させた。 【活動状況（例）】 ・あいさつ運動、花いっぱい運動、読み聞かせ、昔遊び等 ・寄居ふるさと探究学の講師等			
成果指標		目標値	実績値	評価
学校応援団の教育活動での活用回数		各校5回	各校5回以上	A
課題・今後の取組	子どもたちの豊かな学びに資するとともに、学校環境の整備・改善を図るため、学校応援団を教育活動で30回以上活用する。			



活動のPRと地域との連携のシンボルとして購入したのぼり旗



学校応援団の活動状況（寄居ふるさと探究学）

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	4	寄居町青少年健全育成町民会議との連携	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	432,000		432,000	
実施状況	●青少年健全育成町民会議と連携し、地域ぐるみの青少年健全育成支援として以下の事業を実施した。 ・青少年の被害・非行防止の呼びかけ、啓発物の配布 ・道徳講演会の開催等 ●青少年の被害・非行防止特別強調月間に寄居・城南・男衾中学校区で通学する学生等に対して「被害・非行防止キャンペーン」を実施した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
被害・非行防止キャンペーン参加者数		100人	151人	A
課題・今後の取組	引き続き、青少年健全育成事業を町青少年健全育成町民会議と連携して実施する。			

●被害・非行防止キャンペーン実施状況

- ・寄居地区 6月24日（桜沢駅）
7月2日（寄居駅）、4日（桜沢駅・寄居中）、11日（用土駅）
- ・城南地区 7月8日（鉢形駅）
- ・男衾地区 7月4日（男衾駅）



7月2日に実施した
被害・非行防止キャンペーンの様子
（寄居駅前で啓発品を
登校途中の学生に配布）

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	5	子どもギネス事業	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	81,000		33,928	
実施状況	●体力向上や心身の健全な発育を推進することを目的として実施した。 ●新体力テストの結果に対し、自己目標達成度合に応じて町独自のレベル認定証を交付した。 ※次年度以降の新体力テストの記録向上につなげるため、関連イベントとしてHonda硬式野球部を講師に迎え「ボールの投げ方教室」を全小学校において実施した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
認定証の交付数		610枚	624枚	A
課題・今後の取組	引き続き、小学校で実施される新体力テストの結果に対し、町独自の認定証を交付する。また、本事業関連のHonda硬式野球部による「ボールの投げ方教室」も、引き続き実施する。			

がんばりレベル別認定証交付数

（単位：枚）

学年	レベル								合計
	1	2	3	4	5	6	7	8	
4年生	27	66	36	42	24	7	1	0	203
5年生	29	50	48	44	15	6	0	0	192
6年生	56	75	44	37	12	4	1	0	229
合計	112	191	128	123	51	17	2	0	624

県では、一人一人が目標を持って新体力テストに取り組めるよう、体力プロフィールシートを作成している。このシートでは、前年度の記録から目標が設定され、目標を達成するとコバトンが表示される仕組みとなっている。

本事業では、このコバトン数を活用し、コバトン数に応じて以下のとおり「がんばりレベル」を設定した。

■がんばりレベル

- レベル1：コバトン数0～4
- レベル2：コバトン数5～8
- レベル3：コバトン数9～11
- レベル4：コバトン数12～14
- レベル5：コバトン数15～17
- レベル6：コバトン数18～20
- レベル7：コバトン数21～23
- レベル8：コバトン数24



Honda硬式野球部によるボールの投げ方教室の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	6	子ども博士検定	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	30,000		14,362	
実施状況	●町に関する知識を深め、郷土愛を育むとともに、社会、文化、まちづくりなどに関心を持たせ、将来的に町の魅力を発信できる人材を育成するため、町の誇りである鉢形城のフィールドワーク等を実施した。 ●フィールドワーク後、12人の児童が子ども博士検定を受検し、7人の博士が誕生した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
検定参加人数		35人	12人	C
課題・今後の取組	・各事業との調整を行い、実施方法も参加しやすいよう変更したが、検定参加人数が目標値に達しなかったのは、児童を引きつける事業として周知できなかったことが一因であると考えられる。 ・引き続き、町の歴史・文化を学ぶフィールドワークを開催するとともに、周知方法を工夫し、参加者数の増加を目指す。			

子ども博士検定の参加者数

（単位：人）

区 分	寄居	桜沢	用土	折原	鉢形	男衾	合計	博士
7年度	6	1	3	0	0	2	12	7
6年度	6	5	2	0	3	3	19	3
増 減	0	△ 4	1	0	△ 3	△ 1	△ 7	4



10月26日に実施した子ども博士検定の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	7	日本語教室の実施	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	6,000		5,250	
実施状況	●毎週金曜日午後7時から中央公民館で、町内在住の外国人へ日常生活に必要な日本語の理解を深める活動を実施した。 ●寄居地方ユネスコ協会やボランティア、町内在住の外国人が延べ522人参加した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
開催回数		20回	38回	A
課題・今後の取組	案内チラシの掲示やホームページ等で周知を図り、参加者の更なる増加を図る。			



よりいにはんごクラブ「みんなともだち」による日本語教室の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	15	地域と連携・協働した教育の推進		
取組	8	部活動地域移行実施事業	所管	教育指導課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	2,330,000		1,398,688	
実施状況	●休日の部活動を地域クラブ活動として実施することで、部活動顧問となる教員の負担を軽減することができた。 ●地域クラブ 寄居中学校：女子バスケットボール部 城南中学校：女子ソフトテニス部			
成果指標		目標値	実績値	評価
休日の活動を地域クラブ活動へと移行する部活動数		2つの部活動	2つの部活動	A
課題・今後の取組	休日の活動を地域クラブ活動へと移行できた2つの部活動について、活動を維持していく。			



寄居中学校女子バスケットボール部地域クラブでの活動の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	IV	家庭・地域の教育力の向上		
施策	16	家庭教育支援体制の充実		
取組	1	家庭教育学級の推進事業	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	66,000		3,480	
実施状況	●家庭やPTAと連携し、学校ごとに家庭教育学級を実施した。 ●中央公民館と連携し、子どもとその家族と一緒に参加できる家族向けの自然学習教室を実施した。自然がもたらす災害への備えと自然の美しさについて学ぶ機会を作った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
開催回数		14回	16回	A
課題・今後の取組	引き続き、家庭やPTAと連携し、家庭教育学級の取組を推進する。また、中央公民館と連携し、子どもとその家族がふれあいながら参加できる家族向けの講座を開催する。			



8月3日に実施した埼玉県防災学習センターでの地震体験の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	1	中央公民館運営事業の充実	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	1,636,000		1,179,816	
実施状況	●中央公民館主催で20講座を開催し、延べ590人が参加した。 ●元刑事でコメンテーターの佐々木成三氏を講師に招いて文化講演会を開催し、367人が参加した。 ●とことん学び塾を開催し、計11回の講座と研修に延べ409人が参加した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
学習講座・講演会の参加者数		2,680人	1,366人	B
課題・今後の取組	参加者数が目標値に達しなかった要因として、公民館講座募集の周知が十分に行き届かなかったことが一因と考えられる。8年度は、引き続き町民のニーズに対応した各種講座・教室・講演を実施する。			

●公民館講座事業について

公民館講座の概要

（単位：回、人、千円）

	講座数	回数	参加者数	事業費
7年度	20	70	590	415
6年度	20	89	860	530
増減	0	△ 19	△ 270	△ 115

とことん学び塾の概要

（単位：回、人、千円）

	回数	受講者数	参加者数	事業費
7年度	11	50	409	43
6年度	10	55	437	30
増減	1	△ 5	△ 28	13

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	2	中央公民館や地域公民館との連携	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	5,119,000		3,871,194	
実施状況	●各地域公民館で実施した139の講座や催事に、延べ39,540人が参加した。 ●各地域公民館と連携して二十歳式を開催し、211人が参加した。 ●各地域公民館で敬老会を開催し、3,472人が参加した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
地域公民館講座・二十歳式の参加者数		24,900人	39,751人	A
課題・今後の取組	8年度は、引き続き地域公民館が行う敬老会や講座及び教室等の開催を支援するとともに、地域公民館と連携して二十歳式を開催する。			

二十歳式の概要（単位：人、%、pt、千円）

	招待者数	参加者数	参加率	事業費
7年度	306	211	69.0	556
6年度	305	214	70.2	520
増減	1	△ 3	△ 1.2	36

敬老会の参加者数と参加率

（単位：人、%）

	市街地	西部	桜沢	折原	鉢形	男衾	用土	合計
参加者数	272	455	394	264	538	1,142	407	3,472
対象者数	527	934	765	477	1,027	1,815	694	6,239
参加率	51.6	48.7	51.5	55.3	52.4	62.9	58.6	55.6

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	3	図書館事業の充実	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	46,489,000		44,646,381	
実施状況	●年間292日開館し、66,013人が来館した。「図書館まつり」の開催や小学5、6年生を対象とする「こども司書体験」、中学生から大学生までを対象とする「夏休みボランティア体験」を実施し、利用促進を図った。 ●時季に応じた本の展示コーナーを設け、情報発信を行った。 ●メアリズビル公共図書館との交流事業として、布絵本と図書館利用者による折り紙作品を贈った。 ●図書管理システムの更新による機能拡充を行い、利用者サービスの充実と利便性の向上を図った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
貸出点数		240,000点	244,232点	A
課題・今後の取組	引き続き利用者ニーズに応じた資料の充実を進めるとともに、図書館や読書に親しめるよう、利用機会の拡大に努めていく。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	4	社会教育施設の維持管理	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	186,669,000		170,658,400	
実施状況	●施設の維持管理のため、以下の事業を実施した。 ・桜沢コミュニティセンター 空調機器交換工事の実施により利便性向上を図った。 ・総合体育館・アタゴ記念館 屋根補修工事の実施により施設の維持管理に努めた。 ・中央公民館・町民ホール 空調設備更新工事の実施により利便性向上を図った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
桜沢コミュニティセンター 空調機器交換工事		年度内完了	年度内完了	A
総合体育館・アタゴ記念館 屋根補修工事		年度内完了	年度内完了	A
中央公民館・町民ホール 空調設備更新工事		年度内完了	年度内完了	A
課題・今後の取組	8年度は、総合体育館・アタゴ記念館の空調設備等整備工事実施設計業務委託、中央公民館のエレベーター更新工事実施設計業務委託、図書館の空調設備更新工事実施設計業務委託、カタクリ体育センターのパーテーション修繕を実施予定。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	5	社会教育施設の充実	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	2,188,000		2,170,657	
実施状況	●施設予約システムの管理運営と利用率向上のための周知を図った。 【施設予約の状況】			
	区分	予約件数	割合	
	システム申請件数	10,459件	77%	
	窓口申請件数	3,181件	23%	
	合計	13,640件	100%	
成果指標		目標値	実績値	評価
予約システムの利用率		50%	77%	A
課題・今後の取組	引き続き、システムの適切な維持管理に努めるとともに町民の利用促進を図る。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	17	市民のニーズに対応した生涯学習環境づくり		
取組	6	生涯スポーツの推進	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	9,287,000		7,337,988	
実施状況	●各種スポーツ大会を開催した。人口の減少に伴い、各種スポーツの競技人口も減少しているため、開催に当たっては、ターゲットとしている方の目に留まりやすいよう、広報誌だけでなく、ホームページなどへ掲載するとともに、大会の結果については、町公式Xへ投稿することで、参加者のモチベーション向上及び新規参加者の獲得を図った。 ●スポーツ協会やスポーツ少年団、地域公民館事業のスポーツ活動等を支援するとともに、全国大会出場等の顕著な功績があった選手を懸垂幕の掲出等で顕彰した。 ●「第41回寄居町マイルドバレーボール親善大会」は、アリーナの利用停止に伴い中止し、「第71回寄居町駅伝競走大会」は、降雪によって中止した。当該2大会は、代表者会議等を開催し、万全の準備は整っていたものの、結果的に開催していないため、実績値には算入していない。			
成果指標		目標値	実績値	評価
寄居町が主催・共催・後援する スポーツ大会数		25回	27回	A
課題・今後の取組	引き続き、時代に即したスポーツ振興に注力する。			



5月14日に開催し、町公式Xへ投稿した
「第24回寄居町グラウンド・ゴルフ大会」



6月1日に開催し、町公式Xへ投稿した
「第56回町民バレーボール大会」



9月7日に開催し、町公式Xへ投稿した
「令和7年度寄居町硬式テニス大会」



11月23日に開催し、町公式Xへ投稿した
「令和7年度第18回寄居町カローリング親善大会」

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	18	文化財等の保存整備		
取組	1	鉢形城歴史館運営事業	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	34,813,000		23,230,849	
実施状況	●寄居町合併70周年を記念して鉢形城の「記念御城印」を製作した。 ●秋季企画展「神流川合戦を探る」を開催した。 ●普及活動として体験教室や「鉢形城の桜・エドヒガン（愛称 氏邦桜）」のライトアップ、VRチャンバラを開催した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
来館者数		15,000人	14,870人	A
課題・今後の取組	秋季企画展や体験教室などのイベントを開催し、鉢形城の魅力向上と周知を図る。			



寄居町合併70周年記念限定御城印

令和七年鉢形城歴史館
秋季企画展

神流川合戦を探る

開催期間：令和7年10月11日（土）～11月24日（月・祝）

開館時間：午前9時30分～午後4時30分
（入館は午後4時まで）
入館料：〇～一歳…200円 〇高校・大学…100円
〇70歳以上の方、中学生以下の方…無料
障がい者手帳をお持ちの方…無料
休館日：10月14日（火）、20日（月）、27日（月）、
11月4日（火）、10日（月）、17日（月）
主 催：寄居町・寄居町教育委員会

鉢形城歴史館
〒369-1224
埼玉県大里郡寄居町大字鉢形 2496-2
TEL：048-586-0315 Fax:048-580-0818
E-mail:bh4411@town.yorii.saitama.jp

鉢形城歴史館 [検索](#)

秋季企画展ポスター

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	18	文化財等の保存整備		
取組	2	史跡鉢形城跡保存整備事業	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	41,221,000		39,284,414	社会資本整備総合交付金
実施状況	●第2期保存整備事業の一環として、伝逸見曲輪において発掘調査を実施し、石敷き遺構などを発見した。 ●第1期整備で設置した防護柵について、寄居町公園施設長寿命化計画に基づき、三の曲輪の崖側と町道沿い箇所について更新工事を行った。			
成果指標		目標値	実績値	評価
防護柵更新工事		年度内完了	年度内完了	A
課題・今後の取組	第2期保存整備事業の一環として伝逸見曲輪等の発掘調査を実施する。また、笹曲輪地区の公有地化を行い史跡の保護を行う。6年度から実施している防護柵更新工事を引き続き行い、安全管理に努める。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	18	文化財等の保存整備		
取組	3	文化財の保存活用	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	9,888,000		7,300,444	町内遺跡発掘調査事業補助金
実施状況	●町の文化財を後世に伝えるため、指定文化財の保存・維持に努めた。 ●開発に伴う埋蔵文化財の調査及び報告書刊行事業を進めた。			
成果指標		目標値	実績値	評価
指定文化財維持数		69件	69件	A
課題・今後の取組	寄居町の文化財を後世に伝えるため、重要な文化財を指定し、保存するとともに、伝統文化の継承に努める。また、開発に伴う埋蔵文化財の調査及び報告書刊行事業を継続して進める。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	19	芸術及び伝統文化の振興・継承		
取組	1	芸術文化活動の推進	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	883,000		799,293	
実施状況	●生涯学習まつりを開催し、80団体が参加した。 ●元刑事でコメンテーターの佐々木成三氏を講師に招いて文化講演会を開催し、367人が参加した。 ・期日：10月19日（寄居町民ホール） ・演題：最新防犯マニュアル 自分で自分の財産を守る！ ●その他、芸術文化団体が中央公民館で開催する美術展や展覧会等を支援した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
生涯学習まつり参加団体数		91団体	80団体	A
課題・今後の取組	生涯学習まつりを開催し、各種団体が日々の活動の成果を発表する場を提供する。また、各種団体が中央公民館で開催する美術展や展覧会等の芸術文化活動を支援する。			

生涯学習まつり参加団体及び利用団体協議会加盟団体数

（単位：団体）

	作品展示	ステージ発表	合計	加盟団体
7年度	32	48	80	49
6年度	37	49	86	49
増減	△ 5	△ 1	△ 6	0



文化講演会の様子

点検・評価シート（対象：令和7年度）

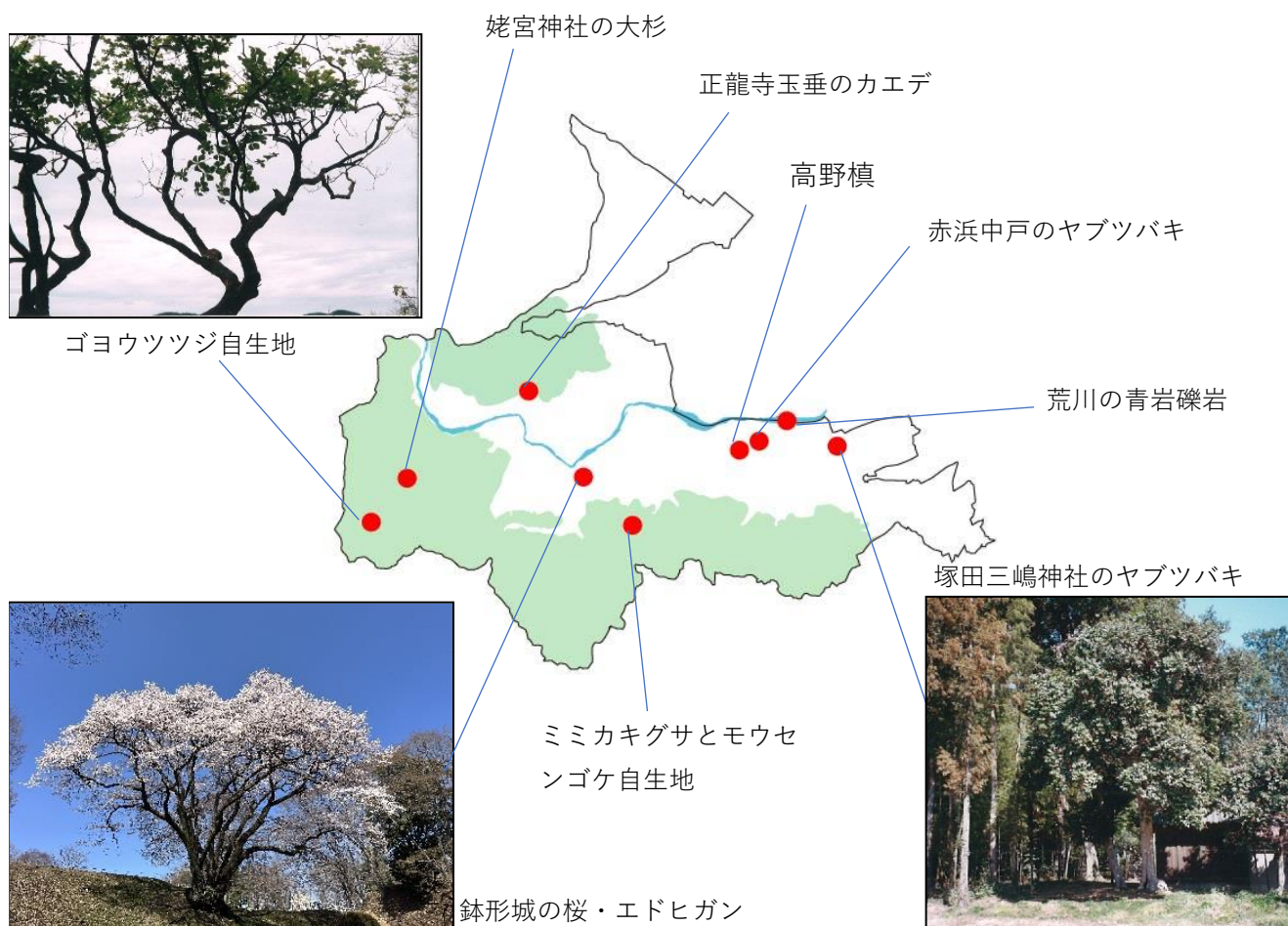
基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	19	芸術及び伝統文化の振興・継承		
取組	2	地域の伝統行事の保護・継承	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●末永く発展的に伝統行事を開催できるよう、町指定無形民俗文化財を保護し活動を支援した。（太々神楽、獅子舞、神田ばやし、寄居町本村祇園行事、白髪神社獅子舞、佐田彦神社川瀬神事 計6件）			
成果指標		目標値	実績値	評価
町指定無形民俗文化財件数		6件	6件	A
課題・今後の取組	引き続き末永く発展的に伝統行事を開催できるよう、寄居町指定無形民俗文化財を保護し活動を支援する。（太々神楽、獅子舞、神田ばやし、寄居町本村祇園行事、白髪神社獅子舞、佐田彦神社川瀬神事 計6件）			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	19	芸術及び伝統文化の振興・継承		
取組	3	文化活動団体への活動支援	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	548,000		502,300	
実施状況	●町内の芸術・文化活動を支援・啓発するため、産業文化祭の出品・参加補助、展覧会等の情報を広報誌に掲載するなど文化活動を支援した。 ●寄居町教育振興に関する補助金等交付要綱に基づき、文化系の補助対象団体へ補助金を交付した。			
成果指標		目標値	実績値	評価
文化活動団体数		15団体	14団体	A
課題・今後の取組	引き続き、町内の芸術・文化活動を支援・啓発するため、補助金を交付する。			

点検・評価シート（対象：令和7年度）

基本目標	V	生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進		
施策	20	自然資源の保存・継承		
取組	1	健全な自然環境の保全	所管	生涯学習課
決算の状況	予算額（円）		決算額（円）	特記事項
	—		—	
実施状況	●「鉢形城の桜・エドヒガン（氏邦桜）」など県・町指定の天然記念物の保護・維持を図った。 （正龍寺玉垂のカエデ、ゴヨウツツジ自生地、ミミカキグサとモウセンゴケ自生地、荒川の青岩礫岩、高野槇、鉢形城の桜・エドヒガン、赤浜中戸のヤブツバキ、塚田三嶋神社のヤブツバキ、姥宮神社の大杉 計9件）			
成果指標	目標値		実績値	評価
埼玉県・寄居町 指定天然記念物維持数	9件		9件	A
課題・今後の取組	「鉢形城の桜・エドヒガン（愛称 氏邦桜）」など埼玉県・寄居町指定の天然記念物の保護・維持を継続する。（正龍寺玉垂のカエデ、ゴヨウツツジ自生地、ミミカキグサとモウセンゴケ自生地、荒川の青岩礫岩、高野槇、鉢形城の桜・エドヒガン、赤浜中戸のヤブツバキ、塚田三嶋神社のヤブツバキ、姥宮神社の大杉 計9件）			



5 識者の評価並びに意見・提言（識者：笠原 康男 氏）

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により実施していただきました本点検・評価は効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民への説明責任を果たすのに十分なものであると高く評価できます。

また、3年前より様式が大きく改訂され、重点施策の基本目標・施策・各取組と評価がリンクされており、目標に対する達成状況や課題・今後の取組等が大変見やすくなりました。町民のみなさまに説明責任を果たし、よりご納得いただけるよう工夫していただいております。

第6次寄居町総合振興計画基本構想を受けて、令和4年度から令和8年度を計画期間とする寄居町教育大綱及び令和7年度寄居町教育行政重点施策における基本理念である「夢と心をはぐくみ未来を拓く寄居の教育」を具現化していくために、体系的・組織的に教育行政施策に取り組まれたことがよくわかり、厳しい状況下でも教育の向上にご尽力いただいたことが伝わってまいりました。

2 点検・評価結果について

点検・評価結果について、記載の順に気付いたことを記させていただきます。また、意見や提言等があるものについては併記させていただきます。

（1）基本目標Ⅰ「未来を拓く確かな学力の育成」について

施策Ⅰ「主体的・対話的で深い学びの実現」は、学習指導要領が目指す資質・能力を育成するための学びの方向性であり、「夢と心をはぐくみ未来を拓く寄居の教育」の根幹をなす部分と言えます。教育DXの充実を軸にして、個別最適な学びの質を高めようとしていることがうかがえ、寄居町の学校教育の大きな特徴として他に誇れる取組だと思われます。

活用事例動画の作成に取り組んでいただき、小学校86本、中学校63本の動画を作成し、ICT活用事例集を作成されました。継続的に積み上げるとともに、ICT活用事例集の利活用について研究いただくことが、児童生徒の学力向上につながるものと思います。

また、「学び合い」を合い言葉に、協働的な学びの充実に向け、小学校理科や中学校数学などを例に推進されていることが評価結果からうかがえ、国と県も充実を目指す、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に向け、指導主事等による計画的な指導の継続による授業の充実を期待します。

施策2「GIGAスクールの推進（学習用タブレットの活用推進）」は、国を挙げての大事業です。寄居町ではICT活用事例動画や事例集の刊行に加え、ICT支援員を配置してハードウェアやソフトウェアの機能を効果的に活用すべく、授業支援や研修などをサポートする活動を通して、より良い授業実践などのICT活用のリテラシー向上や教職員の負担軽減につなげていただけたことがうかがえます。

また、デジタル教科書の活用の充実に向け、小学校英語や中学校英語などを例に推進されていることが評価結果からうかがえます。紙ベースでは表現が難しい様々なコンテンツとリンクされており、これらをうまく活用して新たな学びのスタイルが構築され、学びの深まりや充実が図れたととらえています。

施策3「確かな学力の育成」は、いつの時代においても学校の心柱として、保護者はもちろん、町民誰もが望んでいる施策だと思っておりますので、揺らぐことなく実現を目指さなくてはなりません。町民だけでなく周辺自治体からも注目されている、放課後サポートスクール事業（より・E 土曜塾）は、多様な参加方法を準備するなど、参加しやすい環境を整備することで、参加率も向上しております。寄居教育の特色として今後も大きな成果を期待したいと思っております。

中学校探究学習実施事業「寄居ふるさと探究学」は、主体的・対話的で深い学びを実現する素晴らしい取組だと思っております。「私が創りたい寄居のまち」をテーマに中学1～3年生で縦割りグループを編成し、ゼミ形式で探究学習に取り組まれました。また、寄居町合併70周年記念行事として「寄居ふるさと探究学シンポジウム」を開催し、町長への提言を行いました。この取組は、生徒一人一人の学びへの意欲を高め、学びの意義や目的を明確に持たせることができ、自らの課題を自ら設定するという、学びの理想の姿を具現化するものです。また他者と協働してどのような変化にも柔軟かつ創造的に対応する力を育成することにもつながると思われれます。継続的に実践を重ねることで、寄居町の子供たちの生きる力が確実に育まれると信じております。

また、より・E 学力向上講演会は、講師としてより・E 土曜塾担当の村田喜明氏を招き、希望する進路の実現や確かな学力の育成を目的として行われました。参加した生徒や保護者は、学習への意欲を高められたと思われれます。参加しやすい環境づくりのためオンラインやオンデマンドなどの環境整備をととのえることで、生徒の意識の向上につながることを期待します。

学力向上推進委員会、小中一貫教育の推進、学習指導研究委嘱などの取組についても昨年度を上回る成果を上げていただきました。特に、それぞれの中学校区において小中一貫教育推進に向けて合同会議が実施され、教育課程の充実に向けた見直しは勿論のこと、小中の円滑な接続が安定して実現されることを願います。

学習サポーターなどの人的なリソースが充実しているのも、寄居教育の大きな特色であると感じています。授業者との緊密な連携を図っていただくことで、学習効果を更に向上させていただくことを期待しています。

タブレット端末を活用した家庭学習の実施率については、向上しています。更なる活用を推進されることを期待します。タブレット端末を活用した家庭学習の有用性について、児童生徒のみならず保護者への呼びかけなど行うことで、更なる学力向上につながるものと期待しています。また、社会問題となっている不登校対策としても、学校とのつながりを保ち続けることは大切なことであり、その一方策としても活用の推進をお願いしたいと思います。

寄居町学力テストでは、算数を小学2～5年生、数学を中学1、2年生対象に実施しました。児童生徒の学習状況や実態を把握するとともに、結果を分析することにより、学習指導上の課題を明らかにし、学力向上に役立つことを期待します。また、経年比較資料も追加し、個人の伸びに着目することで自己効力感を高められると思っております。さらに、より・E 算数・数学定着テストをくり返して取り組むことをとおして、基礎的・基本的な学習内容の定着をはかる取組だとうかがえ

ます。

算数検定を小学2～6年生を対象に実施していただきました。児童が自ら選択した検定級に挑戦することで、算数への興味・関心を高め、基礎的・基本的な学習内容の定着を図る目的で行われました。算数検定の問題に取り組ませ、児童が自分の力を発揮できるよう実施されました。今後は、検定結果の分析等により、児童への個別のサポートをお願いしたいと思います。

全国・学力学習状況調査等については、簡単に結果が伴うものではないということよくわかります。日々の授業や家庭学習の充実に立ち返っていただきたいと思います。

施策4「グローバル化に対応する力をはぐくむ教育の推進」では、小学生対象のより・E小学生英語塾や中学生対象の英検無償化事業、更に英検対策講座事業など多くの取組が実施され、中学校卒業までに英検3級以上の取得率が上がることを期待しています。またこれらの取組は他の地域にも誇れる取組であると思います。

ALT派遣事業については、児童生徒が外国語に慣れ親しむ機会を確保するとともに、小学校段階でネイティブスピーカーと触れ合うことにより、中学校での本格的な英語授業へのスムーズな接続に役立っているとうかがえます。

また、中学生海外相互交流事業も、5年度から派遣が再開し、7年度は米国オハイオ州メアリズビル市へ生徒10人を派遣しました。帰国後に派遣生徒による帰国報告会を開催しました。互いに交流を深めることで多様な文化を理解する大切さを学ぶよい機会として喜ばしい取組です。

施策5「夢をはぐくむキャリア教育の推進」では、キャリアパスポートの活用を促していただきました。児童生徒の学びの積み重ねを記録するキャリアパスポートが生まれた背景や小学校にもキャリア教育が位置付けられた意義等も鑑みていただき、それぞれの発達段階に応じ、学習の質を更に高めていただくことを期待します。

また、1/2二十歳式や立志式など児童生徒一人一人が、自らの将来を思い描き、それを家族や仲間、先生たちに宣言する催しは、各校で工夫しながら実施されているようです。授業参観など、公開の方法にも工夫をしていただくことで、児童生徒一人一人のキャリア形成に資する事を期待するものであります。

施策6「多様なニーズに対応した教育の推進」では、教育サポートセンターや埼玉県立深谷はばたき特別支援学校と連携し、巡回相談を年2回実施して配慮を要する児童生徒の困り感の解消や発達支援のあり方等について、学級担任をはじめとする教職員に対して児童生徒の実態に応じた支援の実現につなげられるよう助言をいただいております。助言が効果的に指導に生かされるような、校内体制の整備を引き続きお願いしたいと思います。また、心理士による研修も行われ、教職員の多様なニーズに対応した教育への意識の向上がうかがえます。就学前から卒業後までの切れ目のない一貫した支援を願っています。

また、通級指導教室においては、児童生徒一人一人に寄り添いながら対人間関係能力の向上や学力の向上を目的として小学校のみならず中学校にも開室されました。通級指導担当職員と学級担任、そして児童生徒の保護者との緊密な連携のもと、一層の成果を上げていただくことを願っております。

幼保小・小中連携連絡協議会も小1プロブレム、中1ギャップ解消に向けて実施していただいております。前述の通級指導との連携をはじめ、より良い支援のあり方を協議、工夫していた

だきたいと思います。

介助サポーターの配置は、配慮を要する児童生徒一人一人のニーズに応じて学びや支援の充実のために保護者、特別支援学級担任等からも大きな期待が寄せられております。配慮を要する児童生徒に寄り添うことは、口で言うほど簡単なことではないと思いますが、校内での連携や支援体制を充実していただき、達成感が感じられる職としてインクルーシブ教育システムの充実に寄与されることを願っております。また、保護者や特別支援学級担任、介助サポーターによる合理的配慮についての事前の打ち合わせなどについても計画的に実施されるようお願いいたします。

(2) 基本目標Ⅱ「豊かな心と健やかな体の育成」について

施策7「心をはぐくむ教育の推進」では、特別の教科道徳の確実な実施と内容の充実を目指して、各校で工夫がされていることがうかがえます。7年度は「命」をテーマとした独自の資料（教材）の作成から授業実践をしていただきました。この取組は寄居教育の大きな特色となっていると思います。周辺市町村との連携をはじめとして、幅広い人材起用によって資料を作成するなど、柔軟な編集体制を工夫していただき、今後とも持続可能な実践としていただきたいと思います。

また、道徳講演会について、7年度は寄居町在住で危機管理防災アドバイザーの田中章氏を招いて「命の尊さ」をテーマにした講演会でした。児童生徒から、「命はかけがえのないものと気づくことができた」などの感想がありました。オンラインを活用するなど実施形態を工夫して、より多くの児童生徒が参加できました。ここにも、ICTが生かされたことは寄居教育として誇れることだと思います。

読書通鳥も寄居町が長年にわたり取り組んでいる施策の一つです。読書通鳥100冊達成認定書の発行枚数も目標値を上回る取組がなされました。児童生徒数が若干減少している中で、児童の読書意欲の向上を図るためにも児童や地域への周知に取り組み、本好きの子どもを育てていく上での起爆剤となるべく活用の工夫を期待するものです。また、定期的に小学校に巡回していただいている移動図書館「たまよど号」が来校してくれることを児童は大変楽しみにしていますので、引き続き児童の読書活動を支援していただきたいと思います。

施策8「いじめ・不登校防止対策の推進と生徒指導の充実」では、不登校または不登校傾向にある児童生徒への支援の選択肢の一つとして適応指導教室があります。不登校に対する社会や教育の考え方が、学校に戻ることを優先するのではなく、学習の機会を与えることに重きを置く方向に変わってきています。そこで今後も児童生徒の教育的ニーズに合わせ、多様な学びの場の整備や学校内外の機関につながる機会をつくるため適切な情報提供や連絡調整等連携に一層取り組んでいただきたいと思います。

かわせみ教室は、不登校または、不登校傾向にある児童生徒が通級しています。今後も通級する児童生徒の心理的安定や学習保障、社会性の育成のため支援をお願いします。

不登校児童生徒親の会は、子どもの不登校に対する悩みを抱え込まずに相談できることを目的として開催しており、7年度は年5回開催されました。保護者が自分の思いを伝えるなど安心できる会を引き続きお願いします。

不登校児童生徒支援ルームは、各中学校及び希望する小学校に不登校、不登校傾向及び特別な支援が必要な児童生徒への支援を行うことを目的として開設しています。今後も落ち着いた空間の中で自分にあったペースで学習できる環境の整備をお願いします。

いじめ問題対策連絡協議会も予定どおり開催していただいております。いじめの防止に加え、いじめが起こってしまった際の対応につきましても引き続き適切な指導助言をいただくようお願いいたします。

教育サポートセンターやさわやか相談員をはじめとした、学校との適切な連携を継続していただき、児童生徒や保護者の心に寄り添っていただきたいと思います。

自殺予防では、夏季休業前に「命を大切にする週間」を位置付けて、道徳の授業や校長講話、便りなどで取り組みが行われました。また、自殺予防に関する校内研修も行われ教職員の意識向上に役立つものとうかがえます。

施策9「人権を尊重した教育の推進」では、町内小中学校に決められた順序で2年間の研究を委嘱し、人権感覚を磨き、様々な人権課題を解決しようとする児童を育成するとともに、指導方法や指導内容などを町内の学校に、普及・共有化を目指していただきました。

また、同和問題を人権教育の重要な柱とし、共通の指導計画の活用や研修をとおして、どの教員にも同様に同和問題の授業が計画的・系統的に実施できるようにしました。

どちらの取組も設定した目標を達成していただいておりますが、成果を共有して継続的に実践していただくことが大切であると思います。

施策10「健康の保持増進と体力の向上」では、体力向上推進委員会での分析結果を各校が持ち帰り、体力向上に向けた取組を継続していただき、新体力テストの総合評価の目標値の達成を目指していただきたいと思います。児童生徒の体力は、コロナ禍前とほぼ同等に戻ってきています。引き続き体力課題を分析し、体力向上に向けた授業や体育的活動の充実を期待します。

栄養教諭の学校巡回指導による食育の推進では、目標値を上回る授業実践を行っていただきました。日常の給食センター業務をこなされた上での食育指導ということで、栄養教諭の意欲的な姿勢に感謝するとともに、より一層効果を上げるために教職員や保護者との連携が図れるような工夫と配慮を引き続きお願いしたいと思います。

中学校の部活動のあり方について地域移行などが話題になっていますが、5人の部活動指導員の配置により、それぞれの部活動において専門的な技術指導が行われ、教員の負担軽減が図られたということです。継続的・計画的な配置が行えるような人材を確保するためにも、部活動指導員による効果や好事例等の地域への発信、関係団体と連携のほか、専門的スキルや指導経験豊富な指導者の活用など幅広い人材起用を期待いたします。

(3) 基本目標Ⅲ 「教職員の資質向上と教育環境の充実」について

施策11「教職員の資質・能力の向上」では、教職員の福井県派遣事業において2人派遣していただきました。派遣報告では、オンライン配信も実施するなど全教職員が派遣事業の報告を視聴しました。福井県の取組や坂井市の探究学習などについて情報共有し教職員全体の底上げに寄与したと思われます。寄居町の児童生徒の学力向上に役立つことを期待しています。

人権教育研修会をととして、各種人権課題に対する教職員の意識の高揚や、人権感覚の育成を図ることで、児童生徒に対する人権教育の充実を図っていただくことを期待します。

体力向上講演会では、7年度は寄居中学校長の岡田久志氏を講師に招き、小学校教員と中学校保健体育科教員を対象に講演会を行っていただきました。演題は「確かな技能習得・体力向上・健康増進を保障する体育指導の工夫」で有意義な講演会でした。講演の内容を授業に生かしていただくことを期待します。

教職員の不祥事防止は、全国的に見ても大きな課題です。県教育委員会作成の不祥事防止研修プログラムや寄居町教育委員会作成資料の活用、教頭連絡協議会における管理職対象の不祥事防止研修などに取り組んでいただいております。実績値も向上しているなど、成果も上がっております。今後とも、当事者意識を高められるように、各校で短時間での研修を継続的に取り組まれることを期待します。

施策12「学校の組織運営の改善」では、学校評価の実施が成果指標となっていますが、学校評価を活用してどのように学校運営を改善していくか、その辺りを踏まえて目標を設定するのがよいのではないかと思います。

働き方改革の推進につきましては、時間外在校等時間年360時間を超えない教員の割合は昨年度より成果が表れていますが、今後は、令和8年4月に策定した「寄居町立学校教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づいて学校における働き方改革を推進し、実効性のある多忙化解消・負担軽減を確実に進め、学校教育の質の向上と教職員の健康増進を図るべく推進していただきたいと思います。

施策13「児童生徒の安全・安心の確保」では、安全教育を推進して行くために、危機管理マニュアルを活用した教職員研修を実施していただき、更に、クマの出没増加を受け、各校ではクマ出没対応マニュアルを作成していただきました。目標である各校学期に1回以上実施されたようです。

また6年度からの取組である救命教育の推進ですが、AEDや心肺蘇生法など児童生徒の発達段階に応じたスキルやマインドを育てるために、各校で救命教育に関する授業に取り組まれています。防災や危機管理が強く叫ばれている中、大変価値ある取組だと思われます。今後児童生徒自身が、自分にできることを考え判断し周りの人と協力して行動できることを強く願っています。

ICTを活用した防災・防犯体制の強化では、緊急時に安全かつ迅速に児童生徒を家庭に引き渡すことができるよう、学校のホームページの「緊急時連絡サイト」や連絡ツールを活用し、引き渡し訓練が円滑に実施できるよう取り組んでいただきました。このような取組をととして保護者に対してもICTを活用した教育が浸透しつつあるとうかがえます。

6年度からの取組である救命処置の迅速化（AEDの屋外設置）ですが、AED協力事業所認定制度の「AED協力事業所」の認定も受け、町公式Xに利用に関する周知を行っていただきました。児童生徒のみならず、地域においても屋外での活動時での救命処置の迅速化において素晴らしい取組だと思われます。

食物アレルギーに対応した給食を提供するために、年度当初に保護者と面接を実施してアレルギーの把握を確実に行っていただきました。その内容に応じて、牛乳の停止や詳細なアレルギー

一対応献立表の作成等により、安全・安心な給食の実施に努めていただきました。

施策14「教育環境の整備・充実」では、学校施設等の適正な維持管理として、小学校遊具安全対策工事や、寄居中学校体育館屋上防水工事、給食センター調理設備更新工事を実施していただきました。学校施設の長寿命化・集約化の推進における城南中学校区の学校再編整備事業では、統合に向けた具体的な課題について協議を重ねていただきました。また、学校統合の進捗状況を地域住民へ広く周知し、地域全体で統合への機運を醸成するため「トウゴウタイムズ」を発行し地域回覧をしていただきました。

また、第3子以降の給食費無償化の実施と就学支援の推進により、家庭の経済的負担軽減を図ることで、子育て支援を推進していただきました。制度が有効に機能するよう、引き続き周知の徹底をお願いいたします。

電子図書館の整備・充実では、目標値の7,000点を上回る8,384点の貸し出しが行われました。コンテンツの充実に加え、小学校や中学校ごとのおすすめコンテンツを特集するなど、利用拡大に向けて努めていただきました。本事業のメリットについても引き続き広報いただきたいと思います。

(4) 基本目標Ⅳ「家庭・地域の教育力の向上」について

施策15「地域と連携・協働した教育の推進」では、小学校巡回企画展が用土小学校、折原小学校で開催されました。「主体的・対話的で深い学び」の実現のために、県立自然の博物館と連携して実施していただきました。児童や保護者、地域の方々もご覧になることができ良かったと思います。更に県立美術館や博物館などと連携し、身近な場所で文化芸術に親しみ、楽しむことができる環境づくりに努めていただきたいと思います。

新規取組である、部活動地域移行実施事業は、休日の部活動を地域クラブ活動として実施することで、部活動顧問となる教員の負担を軽減する目的で行われます。寄居中学校女子バスケットボール部と城南中学校女子ソフトテニス部において地域クラブとして実施されました。今後も活動を維持できるよう体制づくりに努めていただきたいと思います。

7年度も、中学校区ごとに学校運営協議会が組織されました。どの中学校区も、年間4回以上開催されました。活動内容等をホームページへ掲載し周知されていきました。地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを推進していただくことを期待しております。

学校応援団推進事業では、各校が授業で活用することを目標とし、すべての学校で、あいさつ運動や、読み聞かせ、昔遊びなどに活用していただきました。学校・家庭・地域が一体となって学校の活性化を図り、家庭や地域の教育力を向上させる一役を担っていただいていることがうかがえます。授業をはじめとした学習活動への協力や支援が更に進むことを期待しております。

寄居町青少年健全育成町民会議との連携では、被害・非行防止の呼びかけや啓発物の配布、道徳講演会の開催、さらに被害・非行防止キャンペーン活動には、昨年度を大きく上回り151人の方に参加をいただきました。

子どもギネス事業では、新体力テストの結果に対して認定証を交付するという形で推進していただきました。認定証は、一人一人が目標をもって取り組めるよう、前年度の記録から目標が設定される埼玉県の体力プロフィールシートを活用した結果をもとに発行していただきました。

7年度は、目標値を上回る認定証を交付することができました。また、新体力テスト記録向上に向け、Honda 硬式野球部を講師に迎えた「ボールの投げ方教室」が各小学校で実施されました。

子ども博士検定は、検定内容に体験をとおして学ぶフィールドワークを取り入れるなど工夫された取組がされています。町に関する知識を深め、郷土愛を育み、将来的に町の魅力を発信できる人材育成に向けて、引き続き周知方法を工夫いただきたいと思います。

町内在住の外国人からのニーズを受け、日本語教室に取り組まれています。目標値を大きく上回る38回開催され、のべ522人が参加されたということです。安定的、継続的に運営できるよう、寄居地方ユネスコ協会と連携して日本語教室の支援をお願いしたいと思います。また指導されている方へ日本語指導に係る研修等の実施や日本語指導を必要とされる方への周知をお願いいたします。

施策16「家庭教育支援体制の充実」では、学校ごとに家庭やPTAと連携し、家庭教育学級を実施していただきました。また中央公民館と連携し、子どもとその家族が一緒に参加できる自然学習教室を実施するなどの取組をとおして、開催回数は目標値を上回ることができたようです。今後も家族がふれあいながら参加できる家族向け講座の開催により、成果を期待したいと思います。

(5) 基本目標Ⅴ「生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」について

施策17「町民のニーズに対応した生涯学習環境づくり」における、中央公民館運営事業では、20講座に延べ590人が参加し、元刑事でコメンテーターの佐々木成三氏を講師にお招きした文化講演会も367人の参加者を集めたとのこと。とことん学び塾においても11回開催し、409人と多くの参加者を集めたとのこと。

各地域公民館で実施した講座や催事、二十歳式に、39,751人が参加いただき、昨年度を1,000人以上上回ったということです。今後も町民のニーズに対応した各種講座・教室・講演等、地域への周知を図り進めていただきたいと思います。

図書館事業の充実、目標を上回る貸し出しが行われました。年間292日開館し、66,013人が来館されました。「図書館まつり」の開催、「こども司書体験」「夏休みボランティア体験」など工夫を凝らした事業を展開し、利用促進を図っていただきました。また、メアリスビル公共図書館との交流事業として、図書館利用者による折り紙作品と布絵本を贈ったほか、図書管理システムの更新を行い、利用者の利便性向上に努めていただきました。

社会教育施設の維持管理では、桜沢コミュニティセンターの空調機器交換工事や総合体育館・アタゴ記念館の屋根補修工事、中央公民館・町民ホールの空調設備更新工事を実施していただきました。引き続き利用者に配慮した、社会教育施設の適切な維持管理に努めていただきたいと思います。

生涯スポーツの推進では、人口の減少に伴い、各種スポーツの競技人口が減少している中、広報誌だけでなく、ホームページ等を活用し周知していただきました。大会結果については、町公式Xへ投稿するなど参加者のモチベーション向上や新規参加者の獲得などに力を入れていただきました。また、スポーツ少年団や地域公民館事業のスポーツ活動等を支援していただきま

した。

施策18「文化財等の保存整備」における、鉢形城歴史館運営事業では、寄居町合併70周年を記念して鉢形城の「記念御城印」を製作したほか、鉢形城の魅力を町内外の方に知ってもらうため、秋季企画展「神流川合戦を探る」の開催や、鉢形城の桜・エドヒガンのライトアップ、VRチャンバラを開催いたしました。来館者数も14,870人と多くの方に来ていただき成果を上げていただきました。

史跡鉢形城跡保存整備事業では、伝逸見曲輪において発掘調査を実施し石敷き遺構などを発見されました。また、寄居町公園施設長寿命化計画に基づき三の曲輪の崖側と町道沿い箇所について防護柵の更新工事を行っていただきました。引き続き史跡の保護と安全管理に努めていただきたいと思います。

文化財の保存活用では、指定文化財の保存・維持に努めていただき、開発に伴う埋蔵文化財の調査及び報告書刊行事業を進めていただきました。今後も継続していただきたいと思います。

施策19「芸術及び伝統文化の振興・継承」の、芸術文化活動の推進では、生涯学習まつりを開催し、80団体に参加していただきました。今後も参加団体が求める支援を継続していただき、より多くの参加につながられるようお願いします。

地域の伝統行事の保護・継承では、末永く発展的に伝統行事を開催できるよう、町指定無形民俗文化財について6件を保護し活動を支援していただきました。引き続きお願いしたいと思います。

文化活動団体への活動支援では、産業文化祭の出品・参加補助、展覧会等の情報を広報誌に掲載するなどの文化活動の支援や、寄居町教育振興に関する補助金交付要綱に基づき、文化系の補助対象団体の14団体へ補助金を交付していただきました。引き続き芸術・文化活動の支援・啓発をお願いいたします。

施策20「自然資源の保存・継承」では、鉢形城の桜・エドヒガンを中心に、県・町指定天然記念物の保護・維持を図っていただきました。引き続き9件の天然記念物を維持していただきますようお願いいたします。

6 結びに

令和8年度教育委員会の事務に関する点検・評価(対象年度:令和7年度)にあたっては、昨年度に引き続き、笠原康男氏(前 男衾小学校長、元 折原小学校長)にご評価いただきました。ご多忙の中にもかかわらず、ご快諾いただき、心から御礼申し上げます。

評価にあたっては、基本目標ごとに、各取組の詳細にわたり、評価・提言を頂戴しました。

はじめに、基本目標Ⅰ「未来を拓く確かな学力の育成」では、

- ・ICT活用事例の動画の継続的な積み上げと利活用方法の研究について
- ・協働的な学びの充実に向けた計画的な指導の継続について
- ・デジタル教科書の活用による新たな学びのスタイルや深まりについて
- ・「寄居ふるさと探究学」の継続的な実践について
- ・タブレット端末による家庭学習の有用性(保護者への呼びかけを含む)について
- ・「寄居町学力テスト」の結果分析と学習指導上の課題把握について
- ・算数検定の結果分析と個別のサポートについて
- ・小学校段階でのALT派遣事業の重要性について
- ・通級指導教室が中学校にも開室されたことについて
- ・介助サポーター配置による支援体制、校内連携について

等に関する評価・提言をいただきました。個別最適な学びの質の向上のため、着実に進展させたいと考えております。

次に、基本目標Ⅱ「豊かな心と健やかな体の育成」では、

- ・特別の教科道徳における「命」をテーマにした独自教材での授業実践について
- ・「命の尊さ」をテーマにした道徳講演会について
- ・児童数減少下での「読書通鳥」の認定書数の目標達成について
- ・「かわせみ教室」へ通級する児童生徒に対する支援について
- ・不登校児童生徒親の会の継続的支援について
- ・不登校児童生徒支援ルームの活用について
- ・教育サポートセンター等による寄り添い支援について
- ・同和問題の授業の計画的・系統的な実施について
- ・児童生徒の体力水準の回復について
- ・部活動指導員への幅広い人材起用について

等に関する評価・提言をいただきました。命の大切さを土台とし、価値観が多様化する社会において、児童生徒一人一人が生き生きと学べる環境づくりを進めたいと考えております。

次に、基本目標Ⅲ「教職員の資質向上と教育環境の充実」では、

- ・福井県派遣事業に関する報告会の全教職員向けオンライン配信について
- ・不祥事防止に対する当事者意識の向上について

- ・学校評価の活用方法について
- ・「寄居町立学校教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」の確実な推進について
- ・クマ出没対応マニュアルの作成について
- ・救命教育の推進について
- ・ICTを活用した引き渡し訓練の実施について
- ・AEDの屋外設置に併せた「AED協力事業所」の認定について
- ・専門家の力を活かした施設の維持管理について
- ・学校統合に関する協議及び進捗状況の周知について

等に関する評価・提言をいただきました。引き続き、教職員の資質向上と施設等の適切な管理に努めていきたいと考えております。

次に、基本目標Ⅳ「家庭・地域の教育力の向上」では、

- ・県立自然の博物館との連携による小学校巡回企画展について
- ・部活動地域移行実施事業の活動支援について
- ・学校運営協議会における地域の声の活用について
- ・学校応援団による学習活動への協力や支援について
- ・被害・非行防止キャンペーン参加者数の増加について
- ・子どもギネス事業での県の体力プロフィールシートの活用について
- ・Honda硬式野球部を講師に迎えた「ボールの投げ方教室」の実施について
- ・「子ども博士検定」の周知方法の工夫について
- ・日本語教室における指導に係る研修や日本語指導が必要な方への周知について
- ・自然学習教室等の家族向けの講座の開催について

等に関する評価・提言をいただきました。ご家庭や地域とともに、児童生徒の成長を支えて行けるよう連携していきたいと考えております。

次に、基本目標Ⅴ「生涯を通じた多様な学習活動とスポーツの推進」では、

- ・文化講演会等の参加者数について
- ・各種講座・教室・講演等の周知の推進について
- ・メアリスビル公共図書館との交流事業について
- ・中央公民館・町民ホールの空調設備更新工事について
- ・人口減少に伴う競技人口の減少に対する競技参加者獲得等の工夫について
- ・鉢形城歴史館運営事業における来館者数について
- ・芸術・文化活動の支援・啓発について

等に関する評価・提言をいただきました。健康長寿にもつながる生涯学習やスポーツの推進に資する事業を進めていきたいと考えております。

笠原氏には、1つ1つの取組を丁寧に見ていただき、的確なご意見、ご指摘をいただきましたこと、改めて感謝申し上げます。基本目標ごとにも記述しましたが、ご意見等が今後の事業に反映させることに努め、引き続き、寄居町教育行政重点施策の基本目標の実現に向け、職員一丸となって取り組んでまいります。